

Produced to assure your safety.

ASSURA®

リモコン付き セパレート型GPSレーダー探知機

12V/24V車 対応

AR-360ST

取扱説明書



micro
CELLSTAR®

ご購入のお客様へ

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。
尚、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。
速度の出し過ぎに注意して走行してください。
また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能




故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 *物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。

 この表示は、してはいけない「**禁止**」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。

 この表示は、気を付けていただきたい「**注意**」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険


 本製品はDC12V/24V兼用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。


 走行中に本製品の操作や画面の注視をしないでください。

※交通事故の原因となります。


 万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。

※そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電液による影響を与える恐れがあります。


 煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないでください。

※発火して火災の原因となります。


 水につけたり、水をかけたり、又、ぬれた手では絶対に操作しないでください。

※火災や感電、故障の原因となります。


警告

 運転や視界の妨げにならない場所、又は自動車の機能（ブレーキ、ハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。


※誤った取り付けは交通事故の原因となります。

 エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。


※万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。

 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。

※感電やショートによる発火の原因となります。


 本製品は精密機器です。分解や改造は絶対に行わないでください。

※発熱、火災、ケガの原因となります。


 ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。

※火災や感電、故障の原因となります。


注意


 穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
※感電や故障の原因となります。

 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

 夏の炎天下、真冬の駐車の際は本製品を取り外してください。
※性能の劣化、本体の変形、ディスプレイの表示不良などをまねく原因となります。

 一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。

 本製品を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、弊社では一切の責任を負いかねます。

 microSDカードの挿入、取り外しをするときは、microSDカードスロットに顔を向けしないでください。
※ケガの原因となります。

はじめに.....	2
安全上の注意.....	2
もくじ.....	3
使用上の注意.....	4
同梱品の確認.....	6
各部の名称と機能.....	8
本製品の設置.....	10
本製品の取り付け方法.....	10
本製品の取り付けイメージ.....	10
GPS アンテナの取り付け.....	11
モニターの取り付け.....	12
本体の取り付け.....	15
電源の取り方.....	16
配線処理.....	17
コードの取り外し方.....	18
リモコンの取り付け方法.....	19
microSD カードの使用方法.....	20
本製品の起動.....	21
電源を入れる.....	21
電源を切る.....	21
ディスプレイの説明.....	22
ディスプレイの見方.....	22
GPS 警告動作例.....	24
GPS 警告時のディスプレイ表示.....	25
各種無線警告時のディスプレイ表示.....	27
レーダー波警告時のディスプレイ表示.....	30
各種機能の設定.....	31
各種機能の設定一覧.....	31
ディスプレイ表示の設定.....	34
音量の調整.....	38
ミュート機能.....	38
マナーモード.....	39
BEST セレクト機能.....	39
各種機能の説明.....	42
レーダー波受信感度オートの動作.....	42
L.S.C. 機能の動作.....	42
ロード自動選択機能.....	43
オートトーンダウン機能.....	43
エリアタイムディママー機能.....	43
レーザーオートミュート機能.....	43
GPS 測位について.....	44
便利な機能.....	45
スキップ機能.....	45
ユーザーメモリー機能.....	46
GPS 警告ポイント消去機能.....	47
レーダーキャンセルメモリー機能.....	48
通過速度履歴確認機能.....	49
1 キロ圏内サーチ機能.....	49
反則金データベース表示機能.....	49
ムービングブルーイルミネーション機能.....	50
飲酒運転警告機能.....	51
日差し注意機能.....	51
速度アラーム機能.....	52
時報アナウンス機能.....	53
安全運転アナウンス機能.....	53
GPS データ更新機能.....	54

ディスプレイモード.....	55
本製品の全リセット.....	55

故障かな？と思ったら..... 56

アフターサービスについて..... 58

保証書について.....	58
修理を依頼される時.....	58
リモコンの紛失について.....	58
GPS データの更新について.....	58
個人情報に関して.....	59
新設速度取締機、Nシステム、 取締りポイントの情報提供のお願い.....	59
各地域のお客様相談窓口一覧.....	59

仕様・定格.....	60
オプション品.....	60

本書に記載されている警告時などの表示画面は、グラフィック警告／横表示時の場合のものです。

AR-360ST の 3 つの便利な機能



イオス：Effective Operation System

心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させる新システムを採用。GPS 情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。

走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。



ピー・キャン

常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要のなくなった GPS 警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。



ベストセレクト機能

新発想の“BEST ボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（全ての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード 1（初期設定が高速道向け）」「マニュアルモード 2（初期設定が一般道向け）」の 4 つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

使用上の注意

- 本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも、速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道をお譲りください。
- 運転中に画面を長く注視しないようにしてください。画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作しないでください。交通事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に停止させておこなってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最小限としてください。
- 本製品は、本製品に登録、記録されたデータ、およびGPS信号、レーダー波を含む各種無線を受信し、それを基に独自に計算されたデータを利用して警告をおこなっています。そのため、登録記録されていない地点や、GPS測位が不安定、未測位な場合、および各種無線が受信できない場合には、警告動作を行うことができません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部の車種において付属のDCコードが、お車のシガーライターソケットの形状に合わない場合があります。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品がGPS測位ができなくなる場合があります。これは故障や不良ではありません。
- 本製品は、車載の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETCなど）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔を取って設置してください。
- 光電管を使用した有人式の速度取締りがおこなわれている場合、その取締りに対して警告することができません。あらかじめご了承ください。

熱反射ガラスについて

- 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波、各種無線の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両ディーラーやメーカーへお問い合わせください。

GPS 警告について

- 本製品に登録されている各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考にして集計、作成されています。
- GPS警告ポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対するGPS警告ができない場合があります。また、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

事故多発エリアについて

- 警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期、またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。
- 首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し、警告が頻繁におこなわれる場合があります。

警察署／交通警察隊について

- 移転、新設などがあった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

急カーブについて

- 本製品でお知らせする急カーブは、当社独自の調査により、登録しているものです。したがって、急カーブであると思われる場所であっても、お知らせしない場合などがあります。

駐車禁止エリアについて

- 本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。

取締りポイントについて

- 取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて、本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りがおこなわれていることに対しての警告ではありません。また警告の前後で取締りをおこなっている場合もあります。あらかじめご了承ください。

盗難多発エリアについて

- 盗難多発エリアは、公表されている犯罪マップを参考に車両盗難や車上荒らしの多発地域を登録しています。実際に発生した地域であっても、警告しない場合があります。

凍結注意アナウンスについて

- 凍結注意アナウンスは、独自調査による、道路凍結しやすい地点、期間でお知らせします。実際の路面状況に応じたお知らせではありません。あらかじめご了承ください。

制限速度について

- 本製品でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。また、普通自動車に対する制限速度をお知らせします。
- 制限速度切り替わりポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切り替わりはお知らせしません。また、ピンポイントでお知らせするものではありません。

簡易マップについて

- 本製品で表示する簡易マップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 簡易マップは取締機のみ表示します。

日差し注意機能について

- 日差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

使用上の注意 (つづき)

無線受信機能について

- 受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を窃用することは、電波法第五十九条により禁じられています。
- 受信電波がデジタル通信の場合は、音声を聞くことができません。
- 受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
- 一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信できない場合があります。
- 各種無線は常に使用されていません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
- ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。
- ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近にかかわらず、受信する場合があります。
- レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または、頻繁に受信する場合があります。
- 本製品は一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのためそれ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
- 署活系無線はチャンネル数が多く使用頻度も高いため、連続的な受信や、頻繁に受信する場合があります。

カーロケータシステムについて

- カーロケータシステムは全ての警察関係車両に搭載されています。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- カーロケータシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

レーザー波受信機能について

- 一部の自動ドアなど、速度取締機と同じ電波を使用している機器があります。その場合、本製品でレーザー警告をおこなうことがありますが、これは故障ではありません。
- 設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーザー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。
- 大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーザー波を受信しにくい状態になる場合があります。

ロード自動選択について

- 現在の走行状態が一般道か高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

ディスプレイについて

- ディスプレイで長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示(短時間でも)した場合、表示跡が残る「焼き付け*」が発生する可能性があります。これらはディスプレイの特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
(※焼き付けは完全に消すことはできません)
スクリーンセーバーを使用したりディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。
お車に設置する際には、ご注意ください。

microSD カードについて

- microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- その他、本書で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお本書では、TM、® マークは一部明記していません。
- 本製品は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。
microSD カードを使用する前に必ずデータのバックアップを作成してご使用ください。
なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

ジェルマットについて

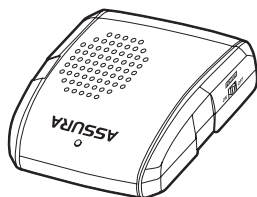
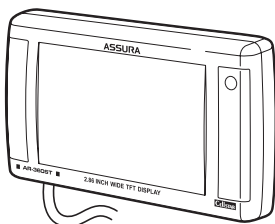
- ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。
傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

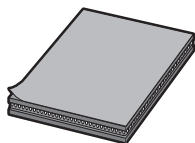
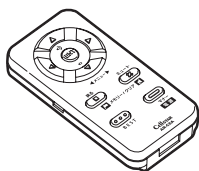
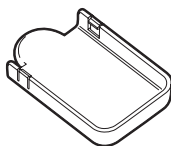
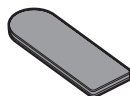
GPS アンテナについて

- GPS アンテナは防水構造ではありません。必ず車内へ設置してください。

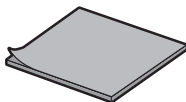
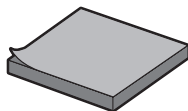
同梱品の確認

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。

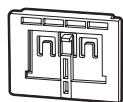

 本体

 モニター

 GPSアンテナ

 本体取り付け用
固定テープ

 リモコン

 リモコンホルダー

 リモコンホルダー
取り付け用
両面テープ

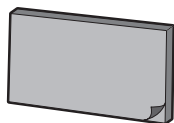
 マウントベース
(垂直取り付けプレート付き)

 水平取り付け
プレート

 ダッシュボード
取り付け用
両面テープ

 ダッシュボード
取り付け用
ジェルマット

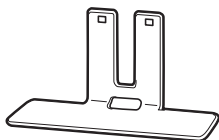
同梱品の確認 (つづき)



プレート



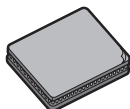
モニター取り付け用
固定テープ



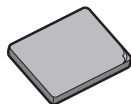
モニター取り付け
L字金具



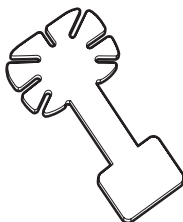
モニター取り付け
L字金具用
両面テープ



アンテナ取り付け用
固定テープ



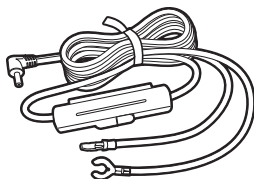
アンテナ取り付け用
両面テープ



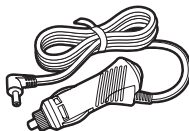
アンテナ用
マウントベース



アンテナ用
マウントベース
取り付け
両面テープ



直結配線用DCコード



シガーライター用
スイッチ付きDCコード



コードクリップ×5

リモコン用電池
(リモコン使用前に装着する必要があります。)

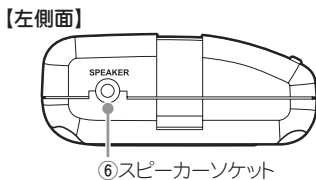
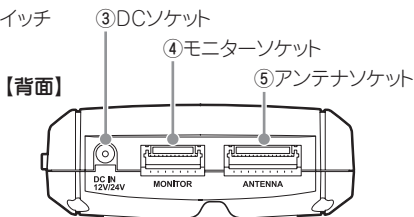
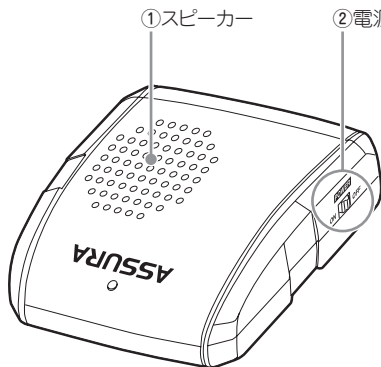
参照 ◆ リモコン用電池の装着方法 (●19ページ)

取扱説明書(本書)

保証書

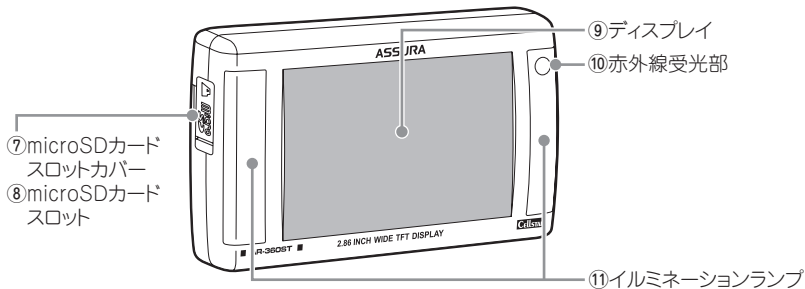
※その他注意書きが同梱している場合があります。

各部の名称と機能



❖ 本体部の名称と機能

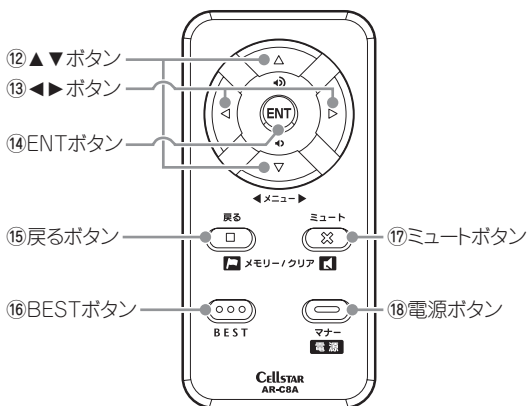
- ① **スピーカー**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ② **電源スイッチ**
電源のON/OFFをします。
- ③ **DCソケット**
DCコードを接続し、DC12V/24Vを本製品に入力します。
- ④ **モニターソケット**
モニターコードを接続します。
- ⑤ **アンテナソケット**
アンテナコードを接続します。
- ⑥ **スピーカーソケット**
別売りの外付けスピーカー（RO-104）のスピーカーコードを接続します。



❖ モニター部の名称と機能

- ⑦ **microSD カードスロットカバー**
microSD カードの挿入時/排出時に開けます。
- ⑧ **microSD カードスロット**
待ち受け画面を追加したり、本製品内蔵の画像/音声を差し替える際に使用する microSD カードを挿入します。
- ⑨ **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS 警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。
また、マニュアルモードなどで各種設定内容を表示します。
- ⑩ **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ⑪ **イルミネーションランプ（青色）**
青色に光り、ディスプレイをライトアップします。

各部の名称と機能 (つづき)



❖ リモコン部と本体部のボタンの名称と機能

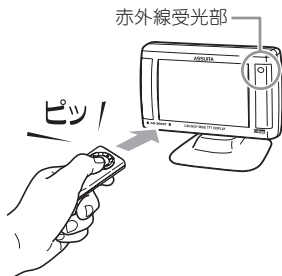
- ⑫ ▲▼ ボタン
音量を調整するときに使用します。
また、各種設定変更時の設定切り替えに使用します。
- ⑬ ◀▶ ボタン
設定メニューの選択時に使用します。
- ⑭ ENT ボタン
設定操作の決定や、通過速度の確認、1キ口圏内サーチ機能、ワンスキップの操作をするときに使用します。
- ⑮ 戻る ボタン
ユーザーメモリー機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。
また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑯ BEST ボタン
BESTセレクト機能の切り替えや設定チェックをするときに使用します。
- ⑰ ミュート ボタン
ミュート機能、スキップメモリー、レーダーキャンセルメモリーなどの設定をするときに使用します。
- ⑱ 電源 ボタン
本体の電源をON/OFFします。
またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

❖ リモコンの操作方法

リモコンを下図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。

⚠ 注意

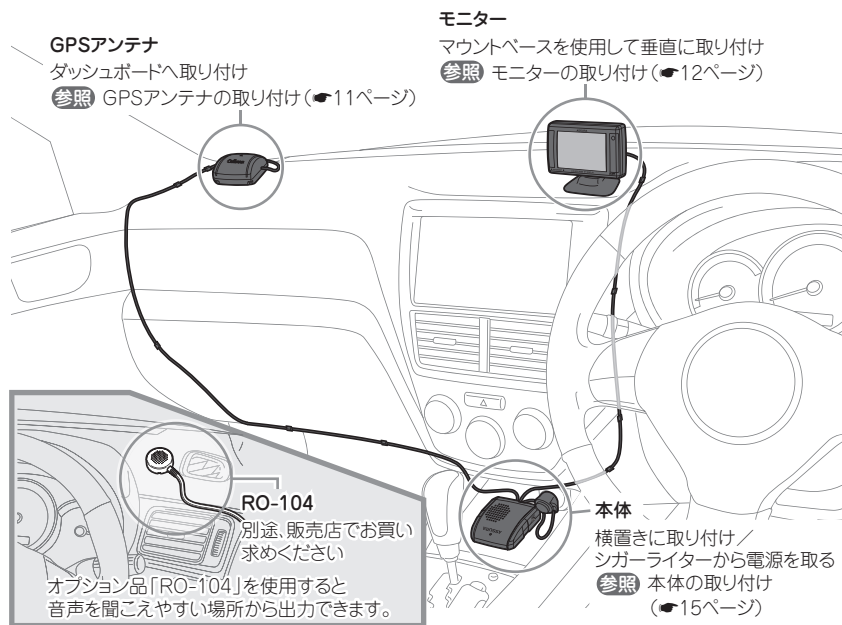
- ・リモコンを紛失いたしますと、本製品の操作をおこなうことができません。
紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。
これは本製品の製品不良や故障ではありません。
あらかじめご了承ください。



本製品の取り付け方法

本製品の取り付けイメージ

本製品の本体、モニター、GPS アンテナは以下の図のように取り付けます。
これ以外にもご使用になる状況によってさまざまな取り付け方が可能です。



⚠️ 取り付け上の注意

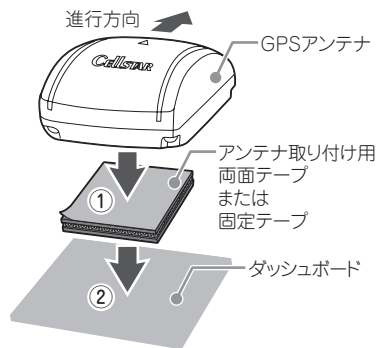
- 本製品は、12V または 24V 車に使用することができます。
- 本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでの取り付けをお薦めします。
- お車のフロントガラスが熱反射ガラスで電波を通さない仕様の場合、アンテナをフロントガラスの上部など電波を通す限られた場所に取り付ける必要があります。詳しくは販売店、カーディーラーなどでご確認ください。
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないように注意し確実に行なってください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取り付け場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- DC コードやアンテナコードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- 直結配線用 DC コードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの(-) マイナス端子を外して作業を行ってください。
- 直結配線用 DC コードでの配線の場合には、確実にお車のボディにアース接続してください。
- シガーライター用スイッチ付き DC コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。

本製品の取り付け方法（つづき）

GPS アンテナの取り付け

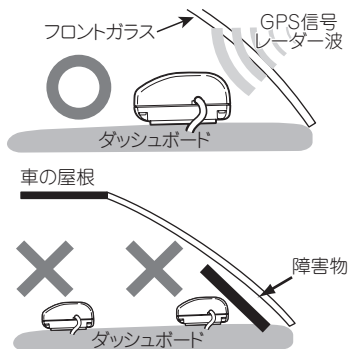
◆ ダッシュボードへ取り付ける場合 ……

- ① GPS アンテナにアンテナ取り付け用両面テープ、またはアンテナ取り付け用固定テープを貼り付けます。
- ② ダッシュボードにGPS アンテナを取り付けます。



⚠ 注意

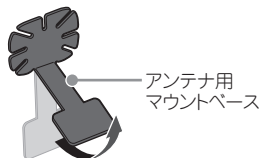
- ・ 本製品は上空からのGPS 信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに、金属などの障害となるものがないように本体をお取り付けください。



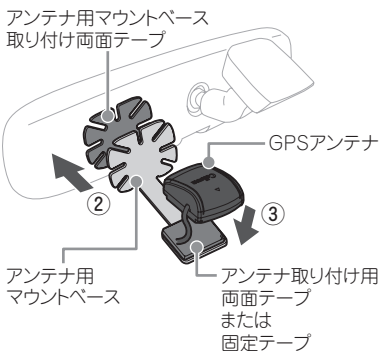
- ・ 一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いいためGPS 信号やレーダー波の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

◆ ルームミラーに取り付ける場合 ……

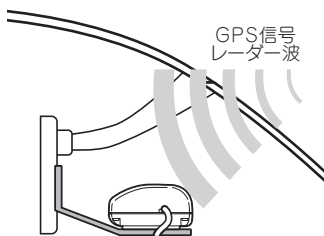
- ① アンテナ用マウントベースを下図のように折り曲げて、角度を調整します。



- ② アンテナ用マウントベースにアンテナ用マウントベース取り付け両面テープを貼り付け、ルームミラーの裏側に取り付けます。
- ③ アンテナ用マウントベースにアンテナ取り付け両面テープ、またはアンテナ取り付け用固定テープを貼り付け、GPS アンテナを固定します。



○ 設置例



GPS アンテナは防水構造ではありません。必ず車内へ設置してください。

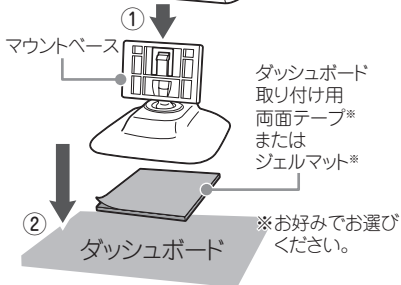
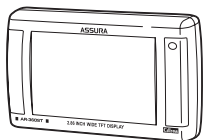
本製品の取り付け方法（つづき）

モニターの取り付け

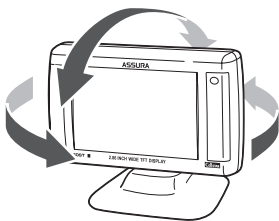
❖ マウントベースを使用して

垂直に取り付ける場合

- ① モニターをマウントベースに取り付けます。
- ② マウントベースにダッシュボード取り付け用両面テープ、またはダッシュボード取り付け用ジェルマットを貼り付け、ダッシュボードに固定します。



- ③ ディスプレイがよく見えるようにモニターのと向きと傾きを調整します。



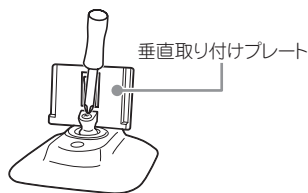
ジェルマットは剥がしても接着跡が残りにくく、粘着力が弱くなった場合、表面の汚れを洗い落とすことで粘着力が復活し、再使用することができます。

傾斜している場所への取り付けなど、ジェルマット使用での取り付けが不安定になる場合は、付属の両面テープを使用して、確実に取り付けてください。

❖ マウントベースを使用して

水平に取り付ける場合

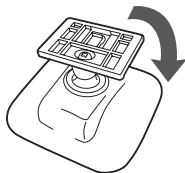
- ① マウントベースのネジを外し、垂直取り付けプレートを外します。



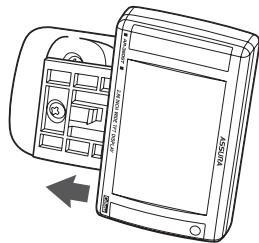
- ② マウントベースに水平取り付けプレートを取り付け、ネジで固定します。



- ③ 水平取り付けプレートを右に90度回します。



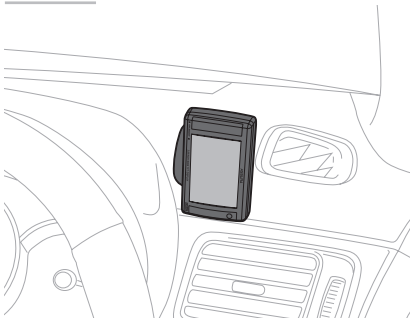
- ④ モニターをマウントベースに取り付けます。



本製品の取り付け方法（つづき）

- ⑤ マウントベースにダッシュボード取り付け用両面テープ、またはダッシュボード取り付け用シエルマットを貼り付け、ダッシュボードに固定します。

○設置例

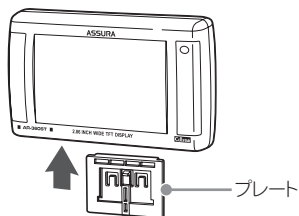


※ 工場出荷時のままでモニターを水平に取り付けた場合、ディスプレイの表示を90度回転する必要があります。画面回転機能を使用して、ディスプレイの表示を調整してください。

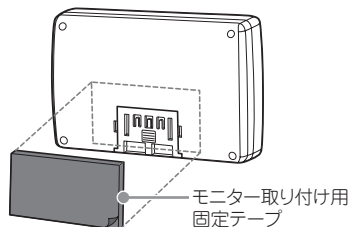
参照 ❖ 画面回転機能 (➡35ページ)

❖直接ダッシュボードに取り付ける場合・・・

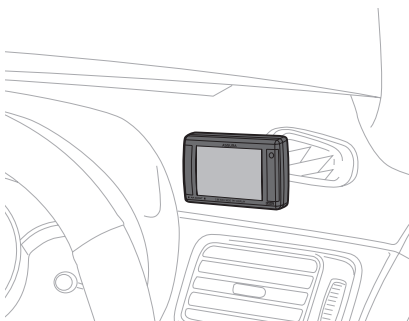
- ① モニターにプレートを取り付けます。



- ② モニターの背面にモニター取り付け用固定テープを貼り付け、ダッシュボードに固定します。



○設置例

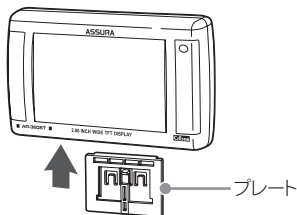


本製品の取り付け方法（つづき）

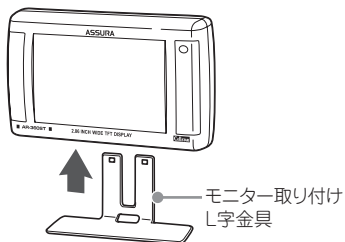
❖ モニター取り付けL字金具を

使用して取り付ける場合 ……………

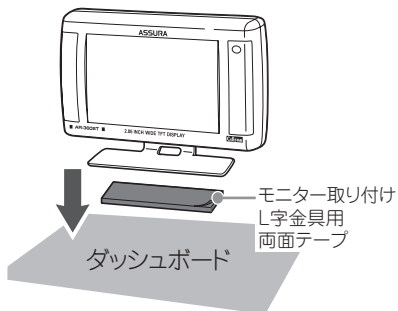
- ① モニターにプレートを取り付けます。



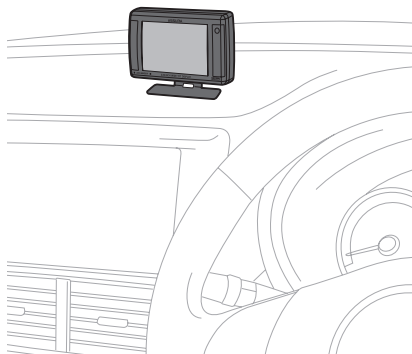
- ② プレートの溝にモニター取り付けL字金具を取り付けます。



- ③ モニター取り付けL字金具用両面テープを貼り付け、ダッシュボードに固定します。



○ 設置例



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明

ディスプレイの
各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

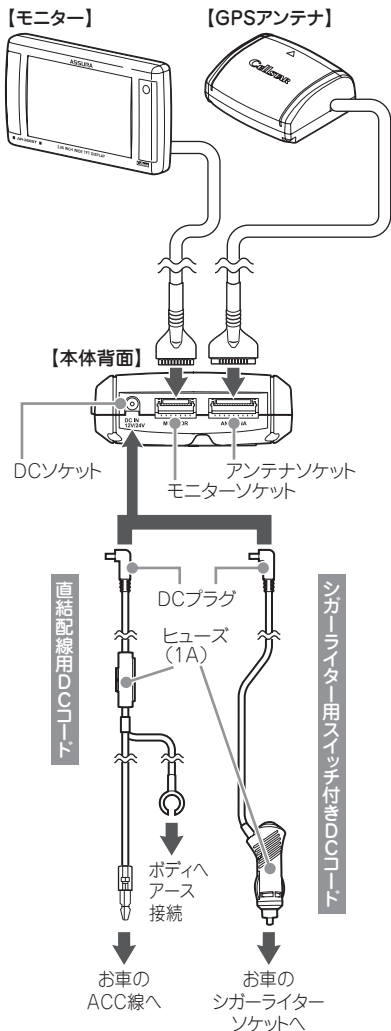
アフターサービス
について

本製品の取り付け方法 (つづき)

本体の取り付け

❖ 本体 / GPS アンテナ / モニター /

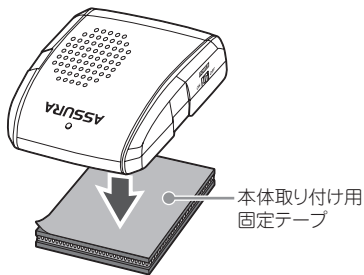
DC コードの接続



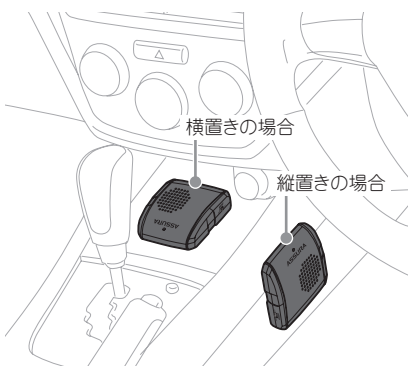
❖ お車への取り付け方法

本体に本体取り付け用固定テープを貼り付け、お車に固定します。

※ 本体を縦置きすることも可能です。



○ 設置例



⚠ 注意

本体には各種無線の受信部が内蔵されています。設置場所によっては受信感度が低くなる場合があります。

無線受信が悪いと感じる場合は本体の設置場所を変更してください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明

ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

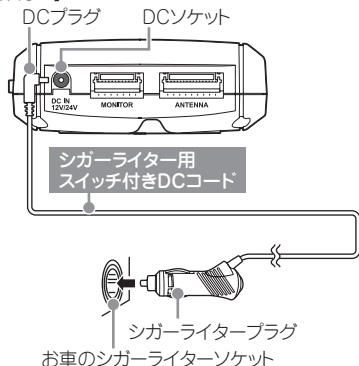
本製品の取り付け方法 (つづき)

電源の取り方

❖ シガーライターから電源を取る場合 ..

シガーライター用スイッチ付き DC コードのプラグをお車のシガーライターソケットに接続してください。

【本体背面】



注意

一部の車種において付属のシガーライター用スイッチ付き DC コードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。

❖ ヒューズボックスから電源を取る場合 ..

市販の電源取り出しコード (平型ヒューズタイプ) をご使用いただくことで、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

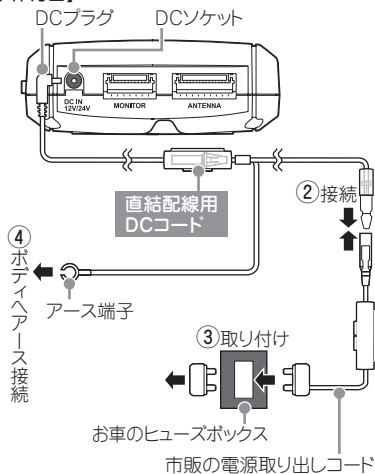
- ① ACC ON/OFF に連動するヒューズボックス内のヒューズ (シガーライター、ラジオなど) を探します。
- ② 直接配線用 DC コードと電源取り出しコードを接続します。
- ③ ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取り出しコードをバッテリー側に差し込みます。
- ④ 直接配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。



注意

ヒューズボックスから電源を取る場合は、ショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。

【本体背面】



注意

エンジンをかけて本製品の電源が ON にならない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- お車、または直接配線用 DC コード内のヒューズ

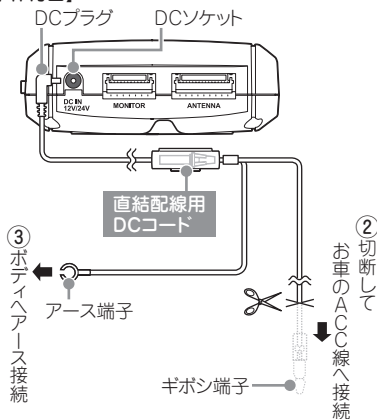
本製品の取り付け方法（つづき）

❖お車の ACC 線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどをご使用いただくことでお車の ACC 線から直接電源を取ることが出来ます。

- ① テスターなどで、お車のキーを ACC ON にしたときに 12V/24V、OFF にしたときに 0V になる ACC 線を探します。
- ② 直結配線用 DC コードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用してお車の ACC 線へ接続します。
- ③ 直結配線用 DC コードのアース端子をお車のボディに接続します。

【本体背面】



⚠ アース端子接続の注意

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

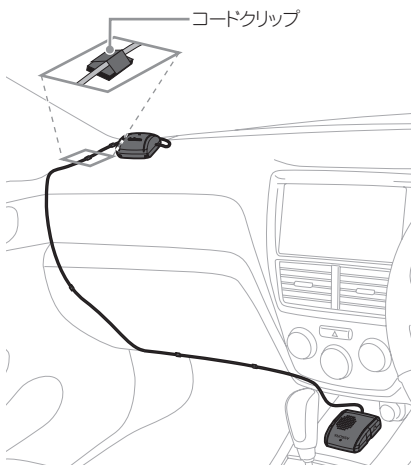
- ・ アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピンネジなど）
- ・ チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。

コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やバックシートの隙間に入れます。



⚠ 注意

- ・ 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業を行ってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
- ・ コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- ・ コードを束ねる場合、ノイズなどの影響を極力避けるため、部品のコードごとに束ねてください。
- ・ DC コードをお車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、DC コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分にご注意ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

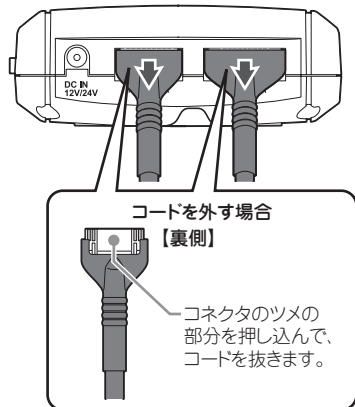
アフターサービス
について

本製品の取り付け方法（つづき）

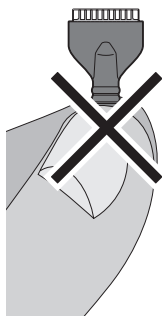
コードの取り外し方

本体からモニターコードやアンテナコードを抜く場合には、必ずコネクタの部分を持って作業をおこなってください。

コードを持ったり、引っ張ったりすると、コードが断線する場合があります。



コードを持って引っ張らないでください。



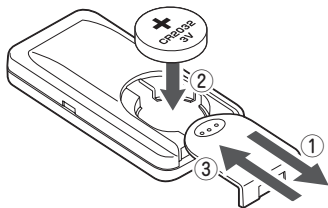
リモコンの取り付け方法

❖ リモコン用電池の装着方法

本製品ではボタン電池（CR2032）を使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、リモコンに同梱の電池を装着してください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

- ① 電池カバーを後ろにずらして外します。
- ② 電池を下図のように「+」側を上にして、リモコンに納めます。
- ③ 電池カバーをはめ直します。



⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。

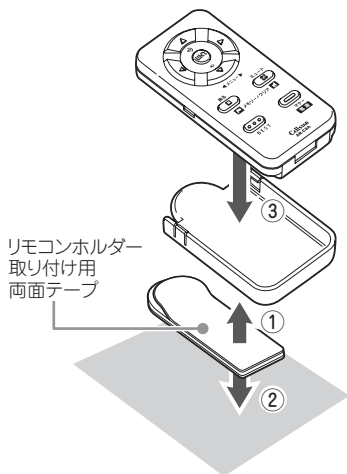
⚠ 注意

- 電池の「+」「-」を逆に入れてください。
- 長期間、機器を使用しない場合は、機器から電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池は、モニター用電池です。

❖ リモコンの取り付け

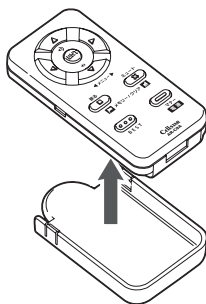
リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーをお車に固定すると便利です。

- ① リモコンホルダーとリモコン取り付け用両面テープを貼り付けます。
- ② リモコンホルダーを取り付け箇所にはり付けます。
- ③ リモコンをリモコンホルダーに納めます。



❖ リモコンの取り外し

下図の矢印の向きにリモコンホルダーから取り外します。



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービス

microSD カードの使用方法

本製品では市販の microSD カードを使用して、本製品に内蔵している警告画面や待ち受け画面、またはスピーカーから出力される音声をお好みのものに差し替えたり、GPS データを更新することができます。

microSD カードによる待ち受け画面、警告画面や音声のカスタマイズ、および GPS データの更新について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

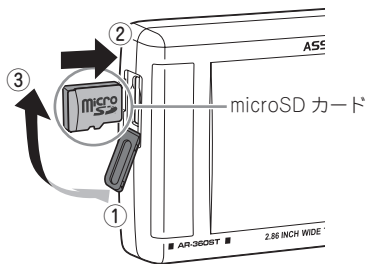
- ※ 本製品は SD 規格に準拠した FAT16 形式でフォーマットされた microSD カードが使用できます。
- ※ 本製品では、8MB～1GB までの microSD カードが使用できます。
- ※ 本製品では、SDHC の microSD カードは使用できません。
- ※ microSD™ は SD アソシエーションの商標です。

microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- ✓ 本製品は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSD カードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。なお本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ✓ お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

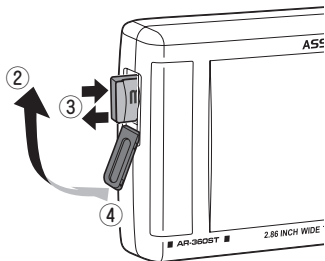
◆ microSD カードの挿入

- ① モニター左側面の microSD カードスロットカバーを開きます。
- ② microSD カードの向きに注意して「カチッ」と音がするまで押し込みます。
- ③ カバーを閉じます。

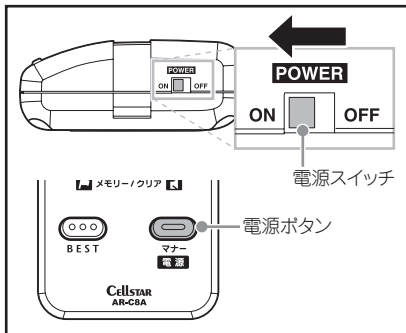


◆ microSD カードの取り出し

- ① 画面に「microSD カードを抜かないで下さい」と表示されていないことを確認してください。
- ② モニター左側面の microSD カードスロットカバーを開けます。
- ③ 挿入されている microSD カードを「カチッ」と音がするまで押し込むと、microSD カードが排出されます。
- ④ microSD カードを取り出し、カバーを閉じます。



電源を入れる



1 お車のエンジンを始動します。

2 本体の「電源スイッチ」を「ON」にします。またはリモコン/本体の「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。

電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動期間中の案内や飲酒運転警告をお知らせします。

※ ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。

また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。

※ リモコンによる電源 ON 操作はリモコンにより電源 OFF した後、有効となります。

※ GPS アンテナから本体に GPS 信号が届いていない場合、右の画面がディスプレイに表示されます。GPS アンテナと本体の接続を確認してください。

参照 本製品の取り付け方法 (←10～18 ページ)

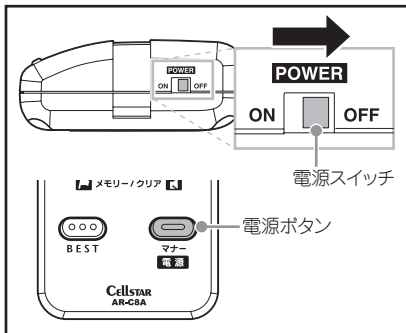
! お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが (約 15 分程度)、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。

GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。

GPS 測位が確定すると「♪ピンポン、GPS を測位しました。」とお知らせします。

電源を切る



1 本体の「電源スイッチ」を「OFF」にします。またはリモコン/本体の「電源ボタン」を約3秒間押し続けます。

約 1 秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

オープニング画面



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。

飲酒運転警告機能の設定が ON の場合、夜間に本製品の電源が入ったときにお知らせします。

参照 飲酒運転警告機能 (←51 ページ)



9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。



4月6日～4月15日*の春の交通安全運動週間にお知らせします。

※ 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

ディスプレイの見方

本製品が起動すると、GPS測位の確定後、待ち受け画面*を表示し、各種警告をおこなうたびに画面が切り替わります。

* 待ち受け画面の表示については「❖ 待ち受け画面の選択」(●36 ページ)を参照してください。

待ち受け画面

時間

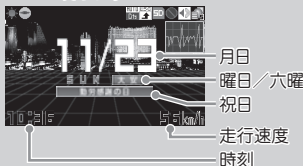
昼/夜表示
(夜は月齢のアイコン)

方位

表示されるデータは目安としてご使用ください。



カレンダー



デジタルメーター



アナログメーター1



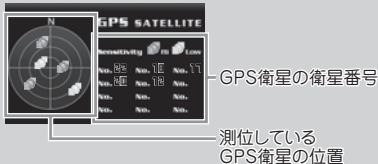
方位



アナログメーター2 アナログメーター3



サテライト



エコドライブ



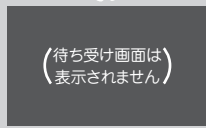
*これまでの走行を、環境への影響を基本に得点表示します。環境に優しい走行ほど得点は高くなります。

スライドショー



*microSDカードに保存された画像ファイルが、順次ディスプレイに表示されます。

オフ



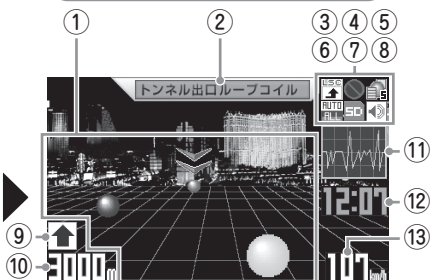
*画面表示が無いときには、イルミネーションランプも消灯します。

ディスプレイの見方 (つづき)

エリアビュー

(高速道/トンネル出口ループコイルが左側に設置の場合)

取締機手前 約3キロ～約2キロ



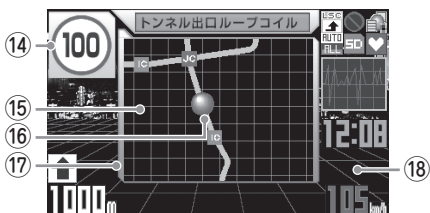
※エリアビューは、駐車禁止(重点・最重点)エリア、制限速度切り替わりポイント、景境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリアでは表示されません。

※エリアビューの表示/非表示を設定することができます。

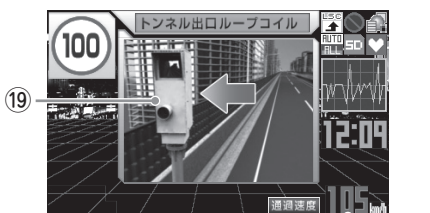
【参照】 ❖ エリアビューのON/OFF設定 (➡34ページ)

GPS警告画面

取締機手前 約2キロ～約200m



取締機手前 約200m～約0m



- ① ● : 進行方向に設置された取締機などの位置
(赤色: 取締機/黄色: 取締りポイント/
青色: Nシステム/橙色: ユーザーポイント/
緑色: その他のポイント)

- ② ①の▼で指し示されている取締機の種類
と道路種 (高速道: 緑色/一般道: 青色)

- ③ L.S.C.の状態

▲ L.S.C. 設定速度以上の走行時に表示

▼ L.S.C. 設定速度以下の走行時に表示

OFF L.S.C. 設定がOFFのときに表示

【参照】 L.S.C. 機能の動作 (➡42ページ)

- ④ 駐車禁止エリアのときに表示

- ⑤ 測位している GPS 衛星の数
GPS サーチ中または測位不可時はアイコン
が赤色表示

- ⑥ ロード自動選択の状態

ALL オールのときに表示

HI ハイウェイのときに表示

City シティのときに表示

【参照】 ロード自動選択機能 (➡43ページ)

- ⑦ microSD カード挿入時に表示

- ⑧ 音声出力の状態

🔊 通常出力のときに表示

❤ マナーモードのときに表示

🔇 ミュート (消音) 時に表示

【参照】 マナーモード (➡39ページ)

【参照】 ミュート機能 (➡38ページ)

- ⑨ 取締機のある方向

- ⑩ 取締機までの距離

- ⑪ 無線またはレーダー波の受信状態
(黄色: 無線/ピンク色: レーダー波)

- ⑫ 現在の時刻

- ⑬ 走行速度

- 取締機手前約2キロ～約200m間で制限速度
超の場合は赤色点滅

- ⑭ 制限速度

- ⑮ 取締機までの簡易マップ (速度取締機のみ)

- ⑯ 取締機の位置

- ⑰ 表示ウィンドウの枠
制限速度超の場合は赤色点滅

- ⑱ 警告背景

- 制限速度超の場合は赤色点滅

- ⑲ 取締機のイラスト

- イラストは取締機の種類と設置された位置
(道路の左/中央/右)によって変化します。

- ⑳ 通過速度

- 制限速度超の場合は赤色点滅

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの
説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

GPS 警告動作例

◆速度取締機（ループコイル、新Hシステム、レーダー式オービス、LHシステム、NHシステム）

または信号無視監視機 の警告動作

4ステップGPS警告（速度取締機の約2キロ手前から最大4回）でお知らせします。

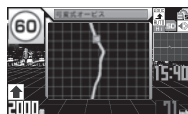
首都高速、可変式、オービスの場合



ステップ1 (約2キロ手前)

♪ピンポン、2キロ先 首都高速 可変式 オービス に注意してください。

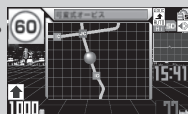
距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ2 (約1キロ手前)

♪ピンポン、1キロ先 首都高速 可変式 オービス に注意(してください)。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



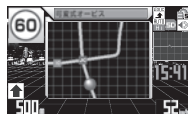
制限速度、60キロ以下です。危険です。スピード落として。

オービス制限速度警告 (走行速度が制限速度を超えている場合)

ステップ3 (約500m手前)

♪ピンポン、500m先 首都高速 可変式 オービス に注意してください。

距離 高速道路名称 可変式 速度取締機識別
速度取締機識別



ステップ4 (約200m手前)

♪ピンポン、カメラは左側です。通過速度は60キロ以下です。

カメラ位置警告 通過速度警告



※距離のボイスアシストは、走行状況によって2キロ先/2キロ以内、1キロ先/1キロ以内、500m先/500m以内と変化します。

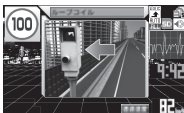
※一般道は、約1キロ手前からの3ステップGPS警告になります。

注意

- 通過速度警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。
- GPS測位による速度計測とお車のスピードメーターでは計測方法が違うため、同時点の計測であっても異なる場合があります。
- 本製品で表示する簡易マップは警告中のポイントに対するもので、実際の走行中の道路と異なる場合があります。

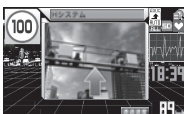
GPS 警告時のディスプレイ表示

◆ ループコイル



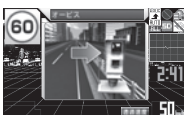
車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

◆ 新Hシステム



レーダー波と異なった種類の電波を使用します。事前に「速度超過」などが速度警告板に表示され、それを無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆ オービス



レーダー波（マイクロ波）を車両に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。

◆ LHシステム



車両が複数あるループコイルを通過するのにかかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。

◆ NHシステム



通行車両をデジタルカメラで撮影し、その写真画像のブレなどから走行速度を算出することで速度違反車両を特定します。現在のこのNHシステムはNシステム

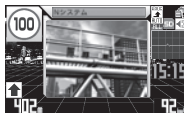
とは異なった目的での車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的に速度取締りをおこなう可能性があります。

◆ 信号無視監視機



信号無視の取締まりを自動でおこないます。

◆ Nシステム



盗難車両の発見・自動車をを使用した重要事件における犯人検挙のために利用する自動ナンバー読み取り装置です。

◆ 取締りポイント



全国各地（高速道、一般道）での追尾式取締り、または移動式取締りや検問がおこなわれていた目撃情報をもとに取締りがおこなわれている可能性の高いエリアを

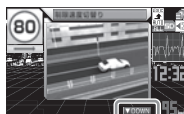
取締りポイントとして登録しています。

取締りポイントの約1キロ手前でお知らせし、走行速度が一定の速度より速い場合には約500m手前で再度注意を促します。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、取締りポイントへの警告開始から約120秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 各種機能の設定一覧（●31～33ページ）

◆ 制限速度切り替わりポイント



▼ DOWN
制限速度が下がるときに表示
▲ UP
制限速度が上がるときに表示

制限速度が切り替わる付近でお知らせします。また、制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」とボイスアシストします。

※ 標準モードに設定されている場合は、制限速度が下がるポイントでのみお知らせします。

参照 各種機能の設定一覧（●31～33ページ）

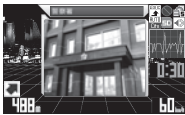
◆ 事故多発エリア



警察庁、国土交通省の統計データにもとづき、全国各地の事故発生率が高いエリアを事故多発エリアとして登録しています。

GPS 警告時のディスプレイ表示 (つづき)

◆ 警察署



緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署を登録しています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、警察署への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 各種機能の設定一覧 (●31 ~ 33 ページ)

◆ 交通警察隊



※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通警察隊への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 各種機能の設定一覧 (●31 ~ 33 ページ)

◆ 交通検問所



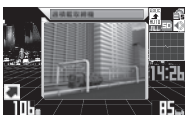
一般道では道路脇に設置されていますが、高速道では料金所脇の高速隊詰め所に併設される場合や、サービスエリアに設置されている場合もあります。道路から

引き込み路があり、検問所が常設されています。取締りは常時ではありませんが速度違反や飲酒検問、過積載などの取締りをおこなっています。その他にも交通規制時にも使用されています。

※ レーダー感度が「オート」に設定されている場合、交通検問所への警告開始から約 120 秒間は、レーダー波受信感度が「エクストラ」に固定されます。

参照 各種機能の設定一覧 (●31 ~ 33 ページ)

◆ 過積載監視システム



路面に設置された重量測定用の踏み板と道路上方の監視カメラによって、トレーラーなどの大型車の重量オーバーを監視します。

◆ 急カーブ




急カーブがある場所をお知らせします。

◆ 駐車禁止 (重点・最重点) エリア



本製品に登録されている駐車禁止エリアは、公表されている取締活動ガイドライン、および当社独自調査により登録したものです。したがって、駐車禁止の標識

やその他標識の設置場所、駐車禁止の指定場所であってもお知らせしない場合があります。

駐車禁止エリア内ではディスプレイに  マークを表示します。

※ 駐車禁止エリアは、一般道路に対してお知らせします。

◆ 道の駅



全国の一般道に併設されている道の駅を登録しています。

◆ ハイウェイオアシス



全国の高速道路に併設されているハイウェイオアシスを登録しています。

◆ サービスエリア



全国の高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。

◆ パーキングエリア



全国の高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。

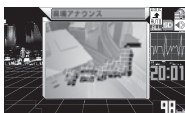
◆ スマートインターチェンジ



高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されている ETC 専用の出入り口です。

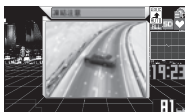
GPS 警告時のディスプレイ表示 (つづき)

❖ 県境アナウンス



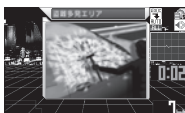
高速道路の走行時に県境をお知らせします。

❖ 凍結注意



高速道路のトンネルや橋付近の凍結の注意が必要なポイントを登録しています。12月中旬～2月の冬季のみお知らせします。

❖ 盗難多発エリア



公表されている全国の盗難多発ポイントを登録しています。発生の多い時間帯で低速走行時にお知らせします。

❖ トンネル出口速度取締機



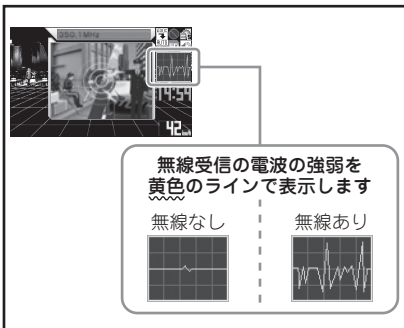
トンネルの出口付近に設置されている速度取締機をトンネルの手前でお知らせします。

❖ ユーザーポイント



ユーザーメモリー機能で登録されたポイントをお知らせします。約1キロ手前から3回警告をおこないます。

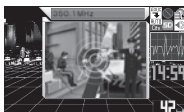
各種無線警告時のディスプレイ表示



注意

各種無線(350.1MHzを除く)を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

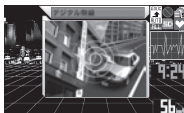
❖ 350.1MHz



速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。

- ※ 350.1MHz 無線の受信は、電波の状態などによって受信状態が変わります。
- ※ 350.1MHz 無線の受信で、デジタル通信の場合は音声を聞くことはできません。
- ※ 350.1MHz 無線は常に取締りに使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され電波が出ている場合に限りです。

❖ 警察デジタル無線



主に警察関係車両で本部との連絡用に使用される無線です。
※ 警察デジタル無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

各種無線警告時のディスプレイ表示（つづき）



注意

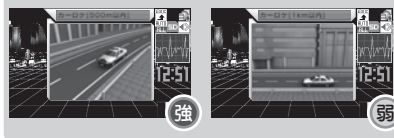
各種無線（350.1MHzを除く）を連続的に受信すると、自動的にディスプレイ表示のみの警告となります。

❖カーロケータ

警察関係車両などに搭載され、GPS信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。

カーロケータを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

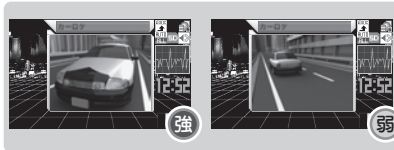
○1回目の受信



※カーロケータの感度が「感度Lo」に設定されている場合は、弱い電波の受信はできません。

（参照）各種機能の設定一覧（←31～33ページ）

○ニアミスアラーム（連続受信）



連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

※カーロケータシステムの受信については導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

※警察関係車両に追尾されていても、カーロケータを受信しない場合があります。カーロケータシステムは全ての警察関係車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関係車両の接近をお知らせすることができません。

※本製品のカーロケータ受信は407.725MHzのみ対応しております。これ以外の周波数やシステムの場合、警告をおこなうことができません。

❖警察活動無線



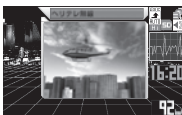
主に機動隊で連絡用として使用される無線です。

❖署活系無線



警察署の管轄区域単位で使用する携帯無線で、警察署と警察官または警察官同士の通信手段として使用されている無線です。

❖ヘリテレ無線



事件や事故、またはヘリコプターを使った取締りなどの際に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。無線の会話を聞くことができます。

※一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖レッカー無線



駐車違反や事故処理などで主に東京都内、兵庫県内、愛知県内の一部地域でレッカー業者が使用する無線です。無線の会話を聞くことができます。

※レッカー無線は簡易業務用無線のため、その他業種の無線も受信します。あらかじめご了承ください。

※お車の走行速度が約50km/h以上の場合、レッカー無線は受信しません。

❖消防無線



各消防署と消防関係車両などとの連絡に使用される無線です。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの
各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

各種無線警告時のディスプレイ表示 (つづき)

❖ 消防ヘリテレ無線



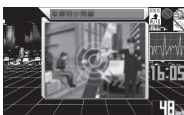
山林火災、水災・地震などの災害や地上からの把握が困難な高層建物火災の発生時に、ヘリコプターと地上間で使用される無線です。
※ 一部地域や一部のヘリコプターでは、ヘリテレ無線が導入されていないなどの理由により受信できない場合があります。

❖ 新救急無線



主に東京都内で使用される救急無線です。

❖ 取締特小無線



路上での取締り現場などで使用される無線です。

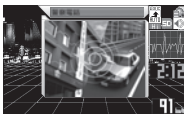
❖ JH 無線



日本道路公団 (JH) のパトロール車両と本部の間で使用される無線です。渋滞や工事・事故情報などの連絡に使用されています。無線の会話を聞くことができます。

※ デジタル通信の場合、会話を聞くことはできません。

❖ 警察電話



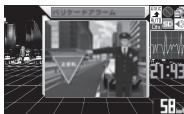
警察関連の自動車電話などで使用されています。

❖ 警備無線



全国の各警備会社で使用される無線です。

❖ バリケードアラーム



検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合、専用のバリケードアラームでお知らせします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

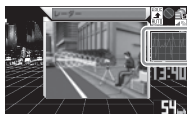
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

レーダー波警告時のディスプレイ表示



レーダー波受信レベルを
ピンク色のラインで表示します

レーダー波なし



レーダー波あり



レーダー波を使用する速度取締機などへの接近をお知らせします。

◆レーダー警告

レーダー波を受信するとディスプレイとアラームでお知らせします。

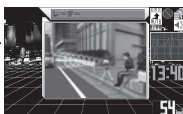
レーダー波の強さがディスプレイの上部に表示されます。

また、レーダー波の強さに応じてアラームが変化します。(自動距離測定回路内蔵)

【参照】 使用上の注意 (4～5 ページ)

レーダー波が弱い レーダー波が強い

△ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…

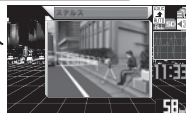


※ レーダー警告がはじまってから約 30 秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

◆ステルスアラーム

瞬時に強いレーダー波を受信すると、それをステルス波として識別し、ディスプレイとボイスアシストとアラームでお知らせします。

ステルスを受信しました。
♪ビロビロビロビロビロビロ…



※ ステルスアラームがはじまってから約 10 秒後、警告音量が自動的に小さくなります。

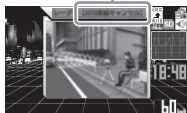
⚠ ステルス波受信について

ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせできません。くれぐれも速度の出しすぎにはご注意ください。

◆対向車線レーダー警告オートキャンセル機能

レーダー式速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下のときはレーダー警告のアラームを自動的にキャンセルします。

キャンセルされたことを表示します。



はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの
各機能の設定

各機能の説明

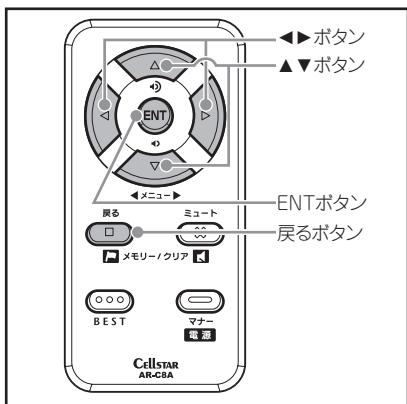
便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

各種機能の設定一覧 ※「マニュアルモード1/2」選択時のみ設定可能です。

マニュアルモードであらかじめ設定されている内容をお好みで変更することができます。



- 1 「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、設定メニューから変更する機能を選びます。
※「▶ボタン」または「◀ボタン」を長く押し続けると、選択する機能が順次切り替わります。
- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定内容を切り替えます。
- 3 「ENTボタン」を押して、設定を確認します。
- 4 引き続き他の機能の設定を変更する場合は、「▶ボタン」または「◀ボタン」を押して、機能を選びます。
設定を終了して通常動作に戻る場合は「戻るボタン」を押します。
また何もボタンを押さなければ、約15秒後に自動的に通常動作に戻ります。

機能	設定内容	説明
取締機	オールハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
Nシステム	オールハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
取締りポイント	解除	警告を解除する
制限速度切替り	オール標準 解除	全てのポイントを警告する 制限速度が下がるポイントでのみ警告する 警告を解除する
オービス制限速度	設定	警告を設定する
通過速度	解除	警告を解除する
事故多発エリア		
警察署／交通警察隊	オールハイウェイ シティ	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する
交通検問所	解除	警告を解除する
過積載取締機		
急カーブ		
駐禁エリア	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
道の駅／ハイウェイオアシス	オールハイウェイ シティ 解除	高速道路／一般道に対しての警告を設定する 高速道路に対しての警告を設定する 一般道に対しての警告を設定する 警告を解除する
サービスエリア／パーキングエリア		
県境アナウンス	設定	警告を設定する
凍結注意	解除	警告を解除する
盗難多発エリア		

(ループ)

(次ページへつづく)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と

アフターサービスについて

各種機能の設定一覧 (つづき)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

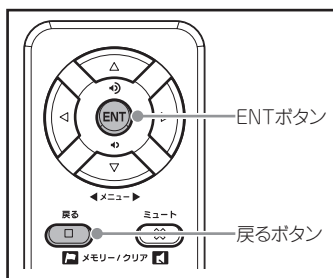
便利な機能

故障かな？と

アフターサービス
について

機能	設定内容	説明
レーダー感度	オート エクストラ ウルトラ スーパー	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する 受信感度を「高」に固定する 受信感度を「中」に固定する 受信感度を「低」に固定する
L.S.C.	30km/h 以下 40km/h 以下 50km/h 以下 60km/h 以下 解除	時速 30 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 40 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 50 キロ以下の走行時に警告音をミュートする 時速 60 キロ以下の走行時に警告音をミュートする L.S.C. を設定しない
カーロケ	感度 Hi 感度 Lo 解除	受信感度を 1 キロ範囲に広げる 受信感度を 500m 範囲に狭める カーロケを設定しない
350.1MHz	設定 解除	警告を設定する 警告を解除する
デジタル無線		
警察活動無線		
署活系無線		
ヘリテレ無線		
レッカー無線		
消防無線		
消防ヘリテレ無線		
救急無線		
取締特小		
JH 無線		
警察電話		
警備無線		
各種設定		

(ループ)



- ※ 「各種設定」を選択して「ENT ボタン」を押すと、下の表の設定メニューに移動します。
- ※ 下の表で「戻るボタン」を押すと、上の表の設定メニューに戻ります。
- ※ の機能は標準モード/オールモードでも設定を変更することができます。

機能	設定内容	説明
ロード 自動選択	オン オフ	走行している道路種 (高速道/一般道) を自動判別する 走行している道路種 (高速道/一般道) を自動判別しない
明るさ・昼	1 2 3	ディスプレイとイルミネーションランプの輝度を最大にする ↑ ディスプレイとイルミネーションランプの輝度を標準にする
明るさ・夜	4 5	↓ ディスプレイとイルミネーションランプの輝度を最小にする
エリアビュー	オン オフ	エリアビューを表示する エリアビューを表示しない
警告表示	グラフィック 文字	GPS 警告をイラスト表示でおこなう GPS 警告を文字表示でおこなう

(ループ)

各種機能の設定一覧 (つづき)

機能	設定内容	説明
画面回転	標準 右 90 度 左 90 度 反転	(通常表示) 画面を右に 90 度回転して表示する 画面を左に 90 度回転して表示する 画面を 180 度回転して表示する
待受画面	時間 カレンダー デジタルメーター アナログメーター 1 アナログメーター 2 アナログメーター 3 方位 サテライト エコドライブ スライドショー(SD) オフ	主に時刻を表示する待ち受け画面 主に日付を表示する待ち受け画面 主に走行速度をデジタルメーターで表示する待ち受け画面 主に走行速度をアナログメーターで表示する待ち受け画面 (背景: 白色) 主に走行速度をアナログメーターで表示する待ち受け画面 (背景: 茶色) 主に走行速度をアナログメーターで表示する待ち受け画面 (背景: 黒色) 主に走行している方位を表示する待ち受け画面 測位している GPS 衛星の情報を表示する待ち受け画面 環境に良いとされる運転を得点化して表示する待ち受け画面 microSD カードに入れた複数の画像を順次表示する待ち受け画面 待ち受け画面を表示しない
待受背景	標準 お気に入り (SD)	本製品内蔵の画像を待ち受け画面の背景に使用する microSD カードに入れた画像を待ち受け画面の背景に使用する
イルミネーション	1 2 3 オフ	「イルミネーションランプ」をエリアタイムディマーに連動して夜間に自動点灯する 「イルミネーションランプ」を常時点灯する 「イルミネーションランプ」を警告時のみ点灯する 「イルミネーションランプ」を常時消灯する
イルミネーション動作	標準 上 下 上下 ランダム	「イルミネーションランプ」が全て点灯する 「イルミネーションランプ」が下から上へ点灯する 「イルミネーションランプ」が上から下へ点灯する 「イルミネーションランプ」が下から上/上から下へ点灯する 上記の「標準」「上」「下」がランダムに選択される
スクリーンセーバー	オン オフ	スクリーンセーバーを表示する スクリーンセーバーを表示しない
飲酒運転警告	オン オフ	オープニング画面で飲酒運転警告をする オープニング画面で飲酒運転警告をしない
日差し注意	オン オフ	朝日/西日の注意をアナウンスする 朝日/西日の注意をアナウンスしない
速度アラーム	80km/h 90km/h 100km/h 110km/h 120km/h 130km/h 解除	時速 80 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 90 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 100 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 110 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 120 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 時速 130 キロ以上の走行時にアラーム音を鳴らす 速度アラーム音を鳴らさない
速度アラーム音	アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3 ボイス	速度アラームとして「アラーム 1」を鳴らす 速度アラームとして「アラーム 2」を鳴らす 速度アラームとして「アラーム 3」を鳴らす 速度アラームとしてボイスガイドを 1 分間に 1 回おこなう
時報アナウンス	ボイス チャ임 1 チャ임 2 オフ	毎正時に時報としてボイスガイドをおこなう 毎正時に時報として「チャ임 1」を鳴らす 毎正時に時報として「チャ임 2」を鳴らす 時報を鳴らさない
安全運転アナウンス	オン オフ	安全運転のためのアナウンスをおこなう 安全運転のためのアナウンスをおこなわない
データ更新	更新	microSD カードによる GPS データの更新をおこなう
ディスプレイモード	オン	製品動作のデモンストレーションをおこなう
初期化	ユーザーポイント プリセットポイント レーダーキャンセルエリア スキップメモリ オールリセット	記録したユーザーポイントを全て消去する GPS 警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰する 記録したレーダーキャンセルエリアを全て消去する 記録したスキップメモリを全て消去する 各設定や記録内容を全消去し、工場出荷時に戻す

(ループ)

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

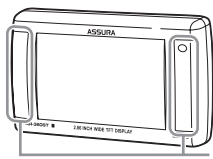
各機能の説明

便利な機能

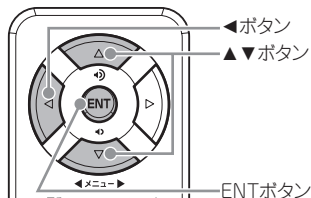
故障かな?と
思ったら?

アフターサービス
について

ディスプレイ表示の設定



イルミネーション
ランプ



❖明るさ 5段階調節機能

ディスプレイの明るさを昼/夜それぞれ個別に、5段階に調節することができます。イルミネーションランプは、ディスプレイの明るさに連動して光量が調節されます。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「明るさ・昼」または「明るさ・夜」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ボタン」を続けて押して「明るさ・昼」または「明るさ・夜」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (➡31～33ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

❖エリアビューのON/OFF設定

取締機の手前約3キロ～約2キロで表示されるエリアビューの表示/非表示を設定することができます。エリアビューを非表示(OFF)にした場合は、代わりに待ち受け画面を表示します。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「エリアビュー」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ボタン」を続けて押して「エリアビュー」を選びます。

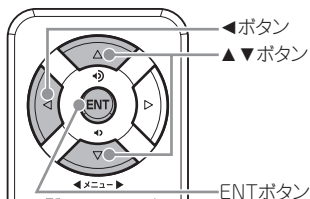


参照 各種機能の設定一覧 (➡31～33ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

ディスプレイ表示の設定 (つづき)



❖ 警告表示画面の選択

各種警告をお知らせする際、ディスプレイにはアニメーションが表示されますが、これを全て文字表示に切り替えることができます。警告表示よりも日付や時間などの待ち受け画面を優先したいときに便利です。

グラフィック警告



この領域に警告内容がアニメーションで表示されます。

文字警告



この領域に警告内容が文字で表示されます。

※文字警告の場合、エリアビュウ表示をおこないません。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「警告表示」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「警告表示」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

❖ 画面回転機能

モニターを水平に取り付けた場合、ディスプレイの表示も取り付け方向に応じて回転する必要があります。

参照 ❖ マウントベースを使用して水平に取り付ける場合 (←12 ページ)

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「画面回転」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「画面回転」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

○ 表示例

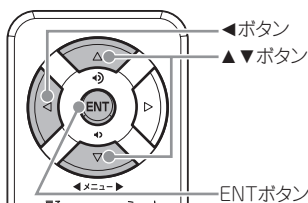
通常表示



90度回転表示



ディスプレイ表示の設定 (つづき)



❖ 待ち受け画面の選択

待ち受け状態のときに表示される画面を選ぶことができます。

【参照】 ディスプレイの見方 (➡22～23 ページ)

待ち受け画面として「スライドショー (SD)」を選んだ場合は、microSD カードに保存した画像ファイルをディスプレイに表示することができます。

microSD カードによる待ち受け画面の設定について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

待ち受け画面に表示されるデータは目安としてご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受画面」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受画面」を選びます。



【参照】 各種機能の設定一覧 (➡31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

❖ 待ち受け画面の背景の選択

待ち受け画面の背景の画像を、microSD カードに保存したお好みの画像に変更することができます。

※ 背景を変更できる待ち受け画面は「時間」「カレンダー」「デジタルメーター」「方位」の 4 種類です。

待ち受け背景 (例)

標準

お気に入り (SD)



microSD カードによる待ち受け画面の背景の設定について

詳しくは、以下の Web ページをご覧ください。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「待受背景」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「待受背景」を選びます。

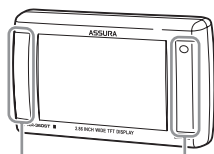
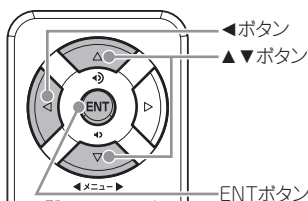


【参照】 各種機能の設定一覧 (➡31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

ディスプレイ表示の設定 (つづき)



イルミネーションランプ

❖スクリーンセーバーのON/OFF 設定

待ち受け時間が約1分間経過すると、自動的にスクリーンセーバー機能を実行します。

※工場出荷時は設定がOFFになっています。

1 オールモード/標準モードの場合は「**◀** ボタン」を押して「スクリーンセーバー」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「**◀** ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「**◀** ボタン」を続けて押して「スクリーンセーバー」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

2 「**▼** ボタン」または「**▲** ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

❖スクリーンセーバーの解除

本機が警告動作をおこなったり、リモコンで音量調整などの設定操作をすると、一時的にスクリーンセーバーが解除されます。

操作例：リモコンの「BEST ボタン」を押すと、BEST セレクト機能画面が数秒間表示された後、待ち受け画面になります。

⚠ ディスプレイについて

- ✓ ディスプレイで長時間同じ映像を表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、表示跡が残る「焼き付け*」が発生する可能性があります。これらはディスプレイの特性によっておこる現象であり、不良や故障ではありません。
（※焼き付けは完全に消すことはできません）スクリーンセーバーを使用したりディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減させることができます。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。
これらはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。
本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ✓ ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。
お車に設置する際には、ご注意ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

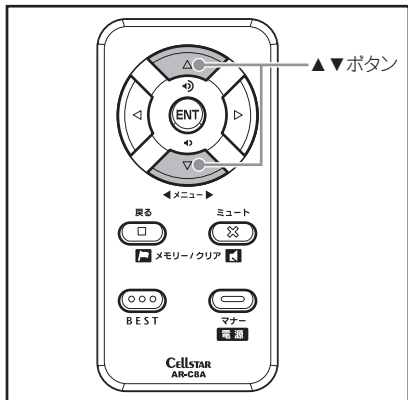
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

音量の調整



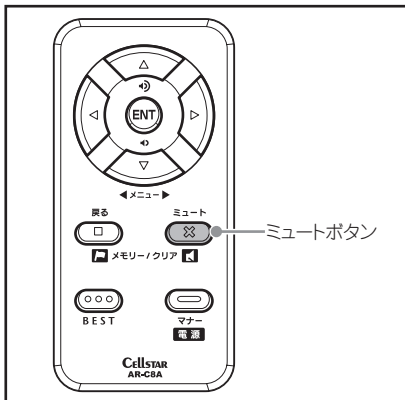
- 1** 「▲ボタン」または「▼ボタン」を押して音量を調整します。



音量大

音量小

ミュート機能



レーダー警告中や各種無線受信動作中に、警告音をミュート（消音）します。

※ ディスプレイによる表示はおこないます。GPS 警告はミュートできません。

- 1** 警告動作中に「ミュートボタン」を押します。ミュート中はディスプレイにミュートマークが表示されます。



○ 各種無線を受信中の場合

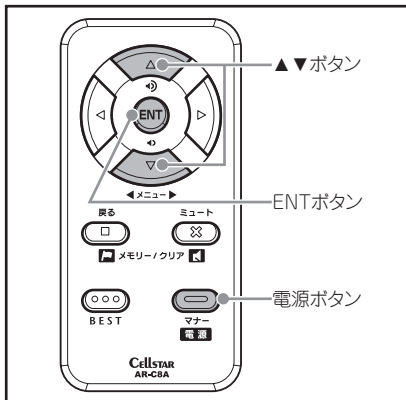
- ・ ミュート中に約 120 秒間受信がなければ、ミュート機能は自動的に解除されます。
- ・ ミュート中に再度受信した場合、約 120 秒間ミュート機能が延長されます。

○ レーダー警告中の場合

- ・ ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

※ ミュートの動作中に「ミュートボタン」を再度押しすと、ミュートが解除されます。

マナーモード



レーダー受信時 / GPS 警告時 / 無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディとディスプレイ表示だけで注意を促します。



※ マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュート（消音）します。

- ・ 時報
- ・ 速度アラーム
- ・ 日差し注意
- ・ 安全運転アナウンス

❖ マナーモードの ON/OFF 設定

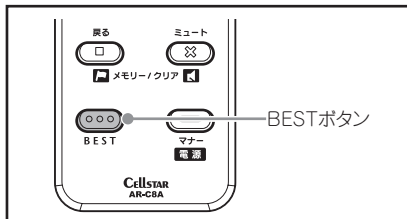
1 「電源ボタン」を押します。



2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENTボタン」を押して設定を確定します。

BEST セレクト機能

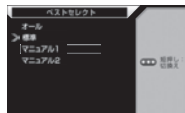


簡単なワンタッチ操作だけで、各機能の設定を個々におこなう必要がない「オールモード」「標準モード」と、自由に設定変更ができる「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の4つを切り替えることができます。

オールモード	標準モード(工場出荷時)
全ての警告がONになっています。	ベストセレクトされた機能がONになっています。
マニュアルモード1	マニュアルモード2
初期設定が高速道向けに設定されています。	初期設定が一般道向けに設定されています。
お好みに合わせて各種機能の設定を自由に変更することができます。	

❖ BEST セレクト機能の切り替え

1 「BEST ボタン」を押します。
現在の設定モードをお知らせします。



2 再度「BEST ボタン」を押すと設定モードが切り替わります。

押すたびに設定モードが切り替わります。

※ 「マニュアルモード1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

❖ 設定チェック機能

1 「BEST ボタン」を約1秒間押し続けます。
「ベストセレクト○○」の後に、各機能の設定内容をボイスガイドとディスプレイでお知らせします。

※ お知らせ中に、「BEST ボタン」を押すと終了します。

BEST セレクト機能 (つづき)

○各モードの設定内容 (マニュアルモードは初期設定の内容)

参照 各種機能の設定一覧 (▶31 ~ 33 ページ)

	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
取締機	オール	オール	ハイウェイ	シティ
Nシステム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
取締りポイント	オール	オール	ハイウェイ	シティ
制限速度切り替わりポイント	オール	標準	標準	標準
オービス制限速度警告	設定	設定	設定	設定
通過速度警告	設定	設定	設定	設定
事故多発エリア	オール	解除	解除	解除
警察署/交通警察隊	オール	解除	解除	解除
交通検問所	オール	オール	ハイウェイ	シティ
過積載監視システム	オール	オール	ハイウェイ	シティ
急カーブ	オール	解除	解除	解除
駐車禁止エリア	設定	解除	解除	解除
道の駅/ハイウェイオアシス	オール	解除	解除	解除
サービスエリア/パーキングエリア	設定	解除	解除	解除
県境アナウンス	設定	解除	解除	解除
凍結注意	設定	解除	解除	解除
盗難多発エリア	設定	解除	解除	解除
レーダー感度	オート	オート	オート	オート
L.S.C.	30km/h以下	30km/h以下	50km/h以下	30km/h以下
カーロケーター	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi	感度 Hi
350.1MHz	設定	設定	設定	設定
警察デジタル無線	設定	設定	設定	設定
警察活動無線	設定	解除	解除	解除
署活系無線	設定	解除	解除	解除
ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
レッカー無線	設定	解除	解除	解除
消防無線	設定	解除	解除	解除
消防ヘリテレ無線	設定	解除	解除	解除
新救急無線	設定	解除	解除	解除
取締特小無線	設定	解除	解除	解除
JH無線	設定	解除	解除	解除
警察電話	設定	解除	解除	解除
警備無線	設定	解除	解除	解除

(次ページにつづく)

※ [] の項目は変更できません。

※ 本製品の電源が OFF になっても、各種設定は保存されています。また、マニュアルモードの設定内容も記憶されています。

BEST セレクト機能 (つづき)



	オールモード	標準モード	マニュアルモード1	マニュアルモード2
ロード自動選択	オフ	オフ	オフ	オフ
明るさ・昼	3	3	3	3
明るさ・夜	4	4	4	4
エリアビュー	オン	オン	オン	オン
警告表示	グラフィック	グラフィック	グラフィック	グラフィック
画面回転	標準	標準	標準	標準
待受画面	時周	時周	時周	時周
待受背景	標準	標準	標準	標準
イルミネーション	1	1	1	1
イルミネーション動作	標準	標準	標準	標準
スクリーンセーバー	オフ	オフ	オフ	オフ
飲酒運転警告	オン	オン	オン	オン
日差し注意	オフ	オフ	オフ	オフ
速度アラーム	解除	解除	解除	解除
速度アラーム音	アラーム 1	アラーム 1	アラーム 1	アラーム 1
時報アナウンス	ボイス	ボイス	ボイス	ボイス
安全運転アナウンス	オン	オン	オン	オン

注意

設定が「標準モード」「オールモード」の場合、設定は固定されています。各機能の設定を個別に変更することはできません。お好みの設定に変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

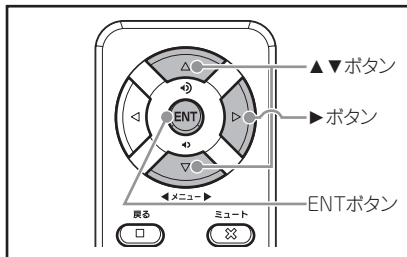
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

レーダー波受信感度オートの動作



レーダー波の受信感度を、お車の走行速度に合わせて自動で切り替えます。

お車の走行状態	受信感度
時速 約 50 キロ以上	エクストラ (高感度)
時速 約 50 ~ 30 キロ	ウルトラ (中感度)
時速 約 30 キロ未満	スーパー (低感度)
GPS 未測位	エクストラ固定

❖レーダー感度の切り替え

(レーダー波受信感度の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。)

1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「レーダー感度」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (☛31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

オート	走行速度に合わせて受信感度が自動的に変化する
エクストラ	受信感度を「高」に固定する
ウルトラ	受信感度を「中」に固定する
スーパー	受信感度を「低」に固定する

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

L.S.C. 機能の動作

L.S.C. の動作

- L.S.C. 設定速度以上の走行時
- L.S.C. 設定速度以下の走行時
- L.S.C. が OFF

GPS 測位中、お車の低速走行や停止時にレーダー警告音を自動的にミュート (消音) します。

L.S.C.	お車の走行状態	警告音	ディスプレイ
ON	L.S.C. 設定速度以上の走行時	あり	
	L.S.C. 設定速度以下の走行時	なし (ミュート)	
OFF	-	あり	

❖L.S.C. 機能の切り替え

(L.S.C. 機能の設定を変更するには、あらかじめマニュアルモード 1/2 に変更する必要があります。)

1 「▶ ボタン」を押して設定メニューから「L.S.C」を選びます。



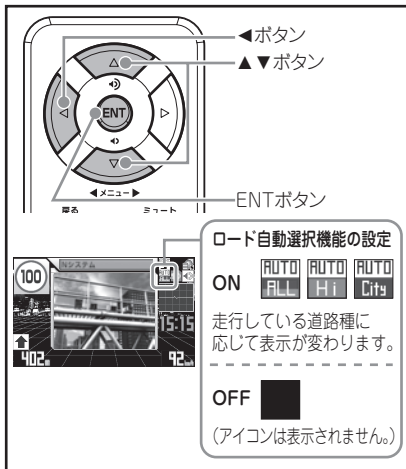
参照 各種機能の設定一覧 (☛31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

30km/h以下	時速 30 キロ以下のときに警告をミュート
40km/h以下	時速 40 キロ以下のときに警告をミュート
50km/h以下	時速 50 キロ以下のときに警告をミュート
60km/h以下	時速 60 キロ以下のときに警告をミュート
解除	L.S.C. を設定しない

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

ロード自動選択機能



GPS を用いて現在走行している道路の種類（高速道／一般道）を自動で判別し、その道路に適した GPS 警告をお知らせします。

※ 現在の走行状態が一般道が高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際の状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「ロード自動選択」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「ロード自動選択」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧（←31～33 ページ）

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※ マナーモード中は、メロディでお知らせします。

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約 30 秒後、またはステルスアラームが始まってから約 10 秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

※ 設定は不要です。

エリアタイムディマー機能

GPS の時刻情報を利用し、各地域での昼／夜／薄明時（朝または夕方）の時刻に応じてディスプレイと LED の明るさを自動的に調整します。

レーザーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート（消音）します。

※ 350.1MHz はミュートされません。

※ ディスプレイによる表示はおこないます。

※ 設定は不要です。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

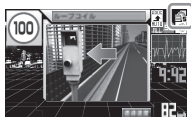
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と思ったら

アフターサービスについて

GPS測位について



GPS 未測位時は
赤色表示



測位している
GPS 衛星の数

GPS を利用した機能を使用するために、GPS の測位確定が必要となります。

本製品の電源が入ると、自動的に GPS 測位が始まります。
GPS 測位が確定すると「ナビボン、GPS を測位しました。」とお知らせします。

◆GPS 測位状態の確認

ディスプレイで測位状態が確認できます。

測位状態	ディスプレイ
GPS 未測位	 (アイコンが赤色表示)
測位中	

◆GPS を利用した主な機能

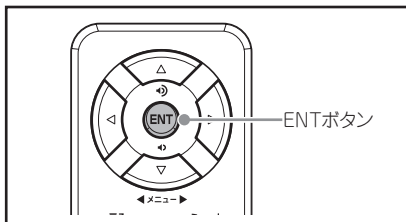
- GPS 警告
 - 速度取締機 (4 ステップ GPS 警告)
 - N システム
 - 取締りポイント
 - 制限速度切り替わりポイント
 - オービス制限速度警告
 - 通過速度警告
 - カメラ位置警告
 - 事故多発エリア
 - 警察署 / 交通警察隊
 - 交通検問所
 - 過積載監視システム
 - 急カーブ
 - 駐車禁止エリア
 - 盗難多発エリア
 - 道の駅 / ハイウェイオアシス
- 対向車線レーダー警告オートキャンセル機能
- L.S.C. 機能
- レーダー波受信感度オート切り替え機能
- ユーザーメモリー機能
- レーダーキャンセルメモリー機能
- GPS 警告ポイント消去
- エリアタイムディマー機能
- 1 キロ圏内サーチ機能
- 通過速度履歴確認機能
- 全国交通安全運動週間の案内
- 飲酒運転警告機能
- ロード自動選択機能
- 速度アラーム機能
- 日差し注意機能
- 安全運転アナウンス機能
- 時報アナウンス機能

お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS 測位が確定するまでに時間がかかる場合があります (約 15 分程度) これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS 測位に 20 分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどでは GPS 測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS 機能を使用するには、GPS 測位中に限られます。
- 車内で TV の 56ch にチャンネルを設定していると、本製品の GPS 測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

スキップ機能

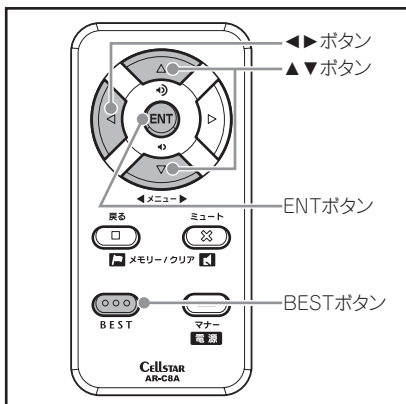
❖ ワンスキップ



受信中の無線を一回だけスキップ（強制終了）することができます。

- 1 受信中に「ENTボタン」を押します。「トビッ」と鳴り、警告表示や受信音を強制終了します。

❖ スキップメモリー



各種無線のうち、特定のチャンネルを最大253チャンネル記録し、スキップ（受信拒否）し続けることができます。

※ カーロケと350.1MHzはスキップできません。

- 1 スキップしたい無線の受信警告動作中に「BESTボタン」を約1秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

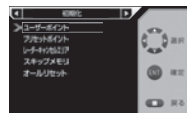
※ 電源をOFFにしても、記録されたスキップメモリーは保持されます。

○ スキップメモリーの全消去

※ 個別での消去はできません。一括での消去となります。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「▼ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



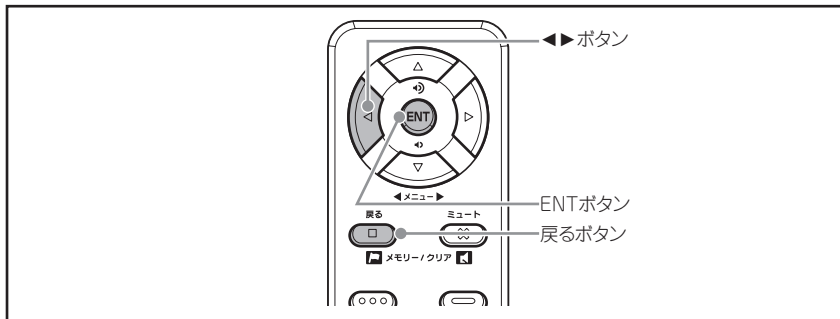
参照 各種機能の設定一覧 (←31～33ページ)

- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「スキップメモリー」を選びます。

「スキップメモリー、スキップメモリー…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これでスキップメモリーが全て消去されました。

ユーザーメモリー機能



新規にお知らせしたいポイントを最大 100 箇所記録して、約 1 キロ手前から 3 回警告をおこなうことができます。

この機能を使用することで、新設された取締機の位置の記録や注意したい地点の記録をおこない、方向識別をして GPS 警告を出すことができます。

※ 記録するには約 1 キロ以上走行している必要があります。

※ 100 箇所を越えると、100 箇所目のポイントに上書きします。

❖ ユーザーポイントの記録 ……………

1 記録したいポイントの場所で「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。

「トピンボン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS 測位の状態によっては、結果が出るまで最大約 20 秒かかります。

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	トピンボン、ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (GPS が測位できない)	トピンボン、GPS を測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	トピンボン、ユーザーポイント記録できません。

❖ ユーザーポイントの個別消去 ……………

1 設定したユーザーポイントの GPS 警告動作中に「戻るボタン」を約 1 秒間押し続けます。操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖ ユーザーポイントの全消去 ……………

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▶ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (→31 ~ 33 ページ)

2 「ユーザーポイント」が選択されていることを確認します。

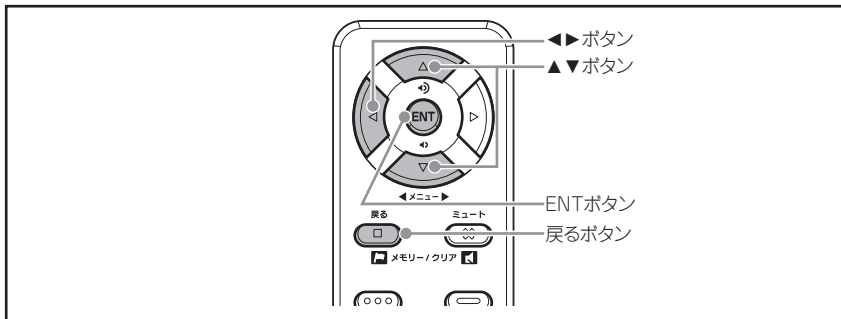
「ユーザーポイント、ユーザーポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENT ボタン」を約 1 秒間押し続けます。これでユーザーポイントが全て消去されました。

⚠ 注意

ユーザーメモリーは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意しておこなってください。

GPS 警告ポイント消去機能



本製品に登録されている、速度取締機／Nシステム／取締りポイント／制限速度切り替わりポイント／事故多発エリア／警察署／交通検問所／過積載監視システム／急カーブ／駐車禁止エリア／道の駅などのGPS警告を消去することができます。この機能を使用することで、取締機の撤去などに対応することができます。

❖GPS 警告ポイントの消去

- 1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「戻るボタン」を約1秒間押し続けます。「トピボン」と鳴り、消去を始めます。その後、操作結果を音声ガイドでお知らせします。

❖GPS 警告消去ポイントの全復帰

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを全て復帰します。
※ 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31～33 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、「プリセットポイント」を選びます。「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返してアナウンスされます。
- 3 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。これでGPS警告ポイントが全て復帰しました。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

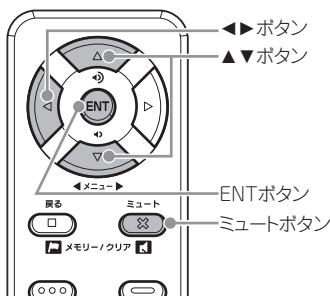
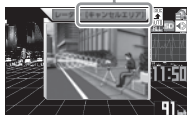
便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

レーダーキャンセルメモリー機能

レーダーキャンセルエリア内で表示します。



レーダー警告音が必要ないと思われるエリアの半径約200m圏内で、レーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。

※ 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

❖レーダーキャンセルエリアの記録……

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「ミュートボタン」を約1秒間押し続けます。「♪ピンポン」と鳴り、記録を始めます。

※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (GPSが測位できない)	♪ピンポン、GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	♪ピンポン、レーダーキャンセルエリア記録できません。

❖レーダーキャンセルエリアの確認……

ディスプレイでエリア内であるかどうかを確認できます。

レーダー波受信	ディスプレイ
あり	
なし	

❖レーダーキャンセルエリアの個別消去……

1 消去したいレーダーキャンセルエリア内で「ミュートボタン」を約1秒間押し続けます。「♪ピンポン」と鳴り、消去を始めます。その後、操作結果をボイスガイドでお知らせします。

❖レーダーキャンセルエリアの全消去……

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ボタン」を押して「初期化」を選びます。
マニュアルモード1／2の場合は、「◀ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。

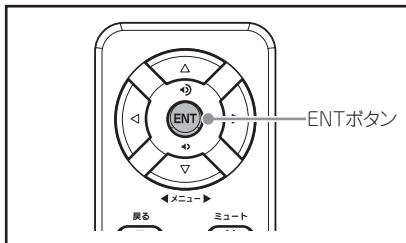


【参照】各種機能の設定一覧 (→31～33ページ)

2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「レーダーキャンセルエリア」を選びます。「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。これでレーダーキャンセルエリアが全て消去されました。

通過速度履歴確認機能



速度取締機を通過したときの通過速度をボイスガイドとディスプレイで確認することができます。

※ 確認できる通過速度は、最後に計測した通過速度1件のみとなります。

1 「ENT ボタン」を押します。

ボイスガイドとディスプレイで前回の通過速度をお知らせします。

※ 通過速度警告がOFFの場合でも、通過速度のデータは保存されているので確認することができます。

参照 各種機能の設定一覧 (P.31～33ページ)

※ 本製品の電源が切れると通過速度履歴データは消去されます。

1 キロ圏内サーチ機能

現在地から半径約1キロ圏内に速度取締機またはユーザーポイントがあるかどうかを検索することができます。

1 「ENT ボタン」を約1秒間押し続けます。

「トピッ、サーチします。」と鳴り、サーチがはじまります。

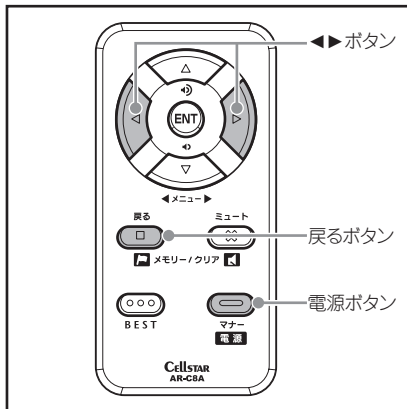
2 ディスプレイとボイスガイドで結果をお知らせします。

結果	ボイスガイド
設置あり	トピンボン、1キロ以内 東名高速可変式ループコイルに注意 してください。
設置なし	トピンボン、ポイントありません。
GPSが測位 できない	トピンボン、GPSを測位できません。

※ GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

※ 半径約1キロ圏内に複数ポイントがある場合は、最も近いポイント1箇所についてお知らせします。

反則金データベース表示機能



交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。

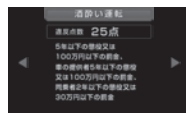
違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

※ 表示内容は2008年1月現在のものです。

※ 全ての交通違反は登録されていません。

1 「電源ボタン」を約1秒間押し続けます。

ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



2 「▶ ボタン」または「◀ ボタン」を押して、表示内容を切り替えます。

違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

3 通常の画面に戻る場合は「戻るボタン」を押します。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの

各機能の設定

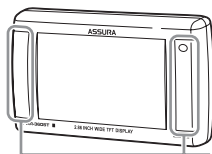
各機能の説明

便利な機能

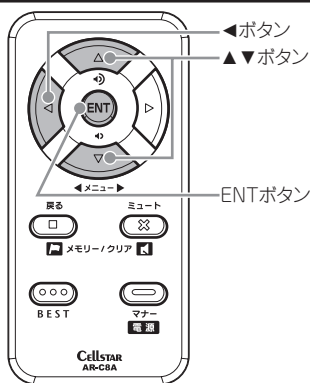
故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

ムービングブルーイルミネーション機能



イルミネーションランプ



ディスプレイの左右にある「イルミネーションランプ」が青色に光り、ディスプレイをライトアップします。

❖イルミネーションランプの点灯/消灯❖

「イルミネーションランプ」の点灯/消灯は、設定メニューで設定を変更して切り替えます。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「イルミネーション」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「イルミネーション」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (➡31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

1	エリアタイムディマー機能と連携して、夜間に自動点灯する
2	常時点灯する
3	警告時のみ点灯する
オフ	常時消灯する

※「1」または「2」に設定した場合、待ち受け画面が「オフ」のときには、画面の表示に連動して点灯します。

参照 エリアタイムディマー機能 (➡43 ページ)

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

❖イルミネーションランプの動作の設定❖

「イルミネーションランプ」の光り方を5つのパターンから選ぶことができます。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「イルミ動作」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「イルミ動作」を選びます。



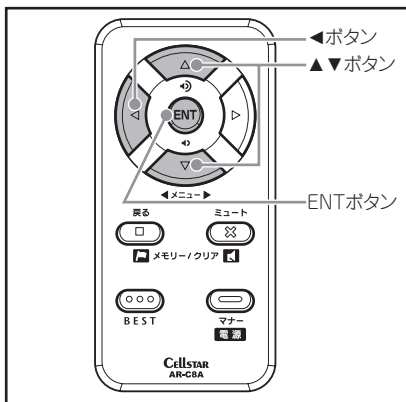
参照 各種機能の設定一覧 (➡31～33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

標準	全て点灯する
上	下から上へ点灯する
下	上から下へ点灯する
上下	下から上/上から下へ点灯する
ランダム	上記の「標準」「上」「下」がランダムに選択される

3 「ENT ボタン」を押して設定を確定します。

飲酒運転警告機能



本製品の電源を入れたときに表示されるオープンング画面で、飲酒運転を警告します。(夜間に限りません。)

参照 電源を入れる (➡21 ページ)

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「飲酒運転禁止」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「飲酒運転禁止」を選びます。

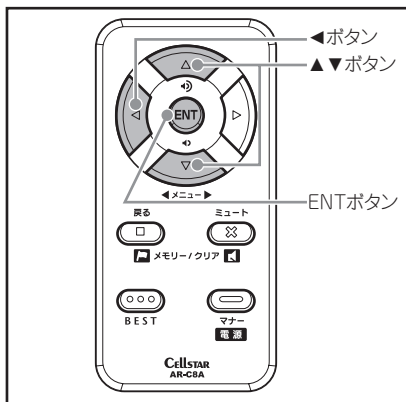


参照 各種機能の設定一覧 (➡31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

日差し注意機能



太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、ボイスガイドで注意を促します。

1 オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「日差し注意」を選びます。

マニュアルモード1/2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「日差し注意」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (➡31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※ マナーモード中はお知らせしません。
※ 日差し注意機能は実際の天候にかかわらずお知らせします。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの説明

各機能の設定

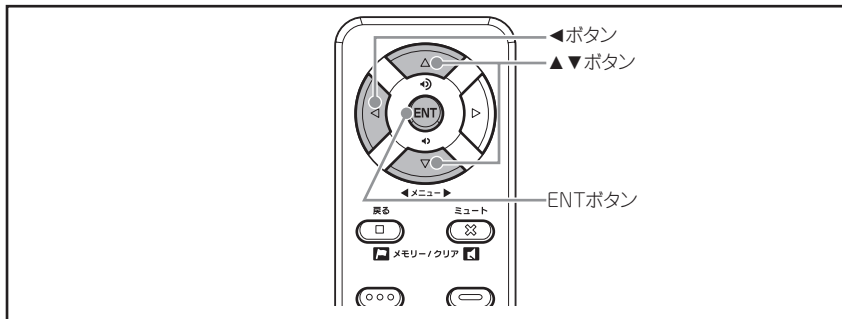
各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら?

アフターサービス
について

速度アラーム機能



走行速度があらかじめ設定しておいた上限速度を超えたときにボイスまたはアラームで警告します。

❖ 上限速度の設定

上限速度として 80km/h、90km/h、100km/h、110km/h、120km/h、130km/h のいずれかを選択できます。

速度アラーム機能を OFF にするには「解除」を選択します。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「速度アラーム」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「▶ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「速度アラーム」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※ マナーモード中はお知らせしません。

❖ 速度アラーム音の設定

警告時に流れる音声はボイスガイドと 3 種類のアラーム音から選ぶことができます。

1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「速度アラーム音」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「▶ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「速度アラーム音」を選びます。

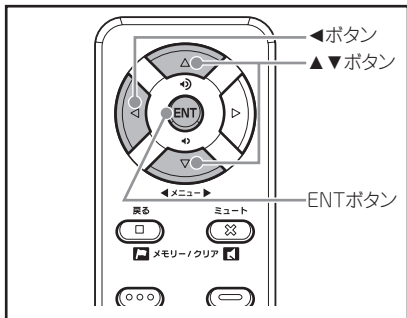


参照 各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

時報アナウンス機能



毎正時に時刻をボイスガイドまたはチャイム音でお知らせします。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「時報アナウンス」を選びます。
マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「時報アナウンス」を選びます。



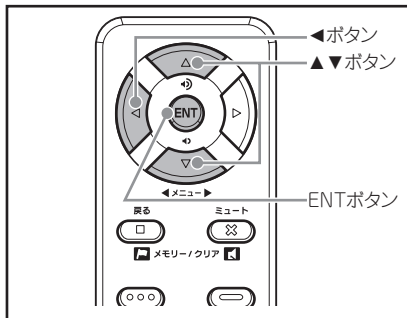
参照 各種機能の設定一覧 (●31～33 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※ マナーモード中はお知らせしません。

安全運転アナウンス機能



ボイスガイドで安全運転に向けたアドバイスをお知らせします。

お知らせ時	ボイスガイド
本機の電源が入ってから2時間経過	♪、2時間が経過しました。 休憩しましょう。 ※以降、2時間ごとにアナウンスします。
日没時刻	♪、ヘッドライトの点灯を確認してください。

- 1 オールモード／標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「安全運転アナウンス」を選びます。

マニュアルモード1／2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「安全運転アナウンス」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (●31～33 ページ)

- 2 「▼ ボタン」または「▲ ボタン」を押して、設定を切り替えます。

- 3 「ENT ボタン」を押して設定を確認します。

※ マナーモード中はお知らせしません。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

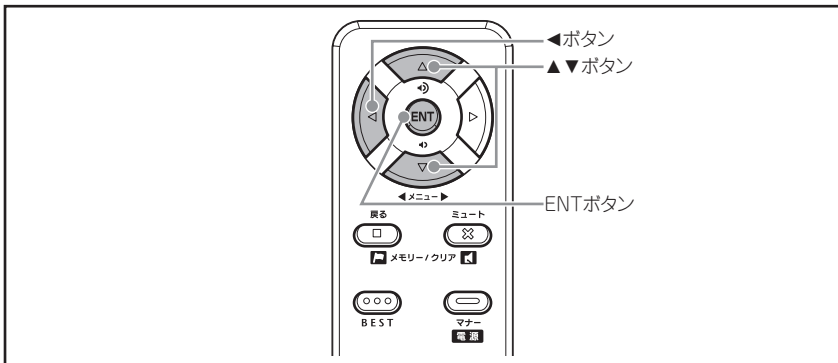
各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

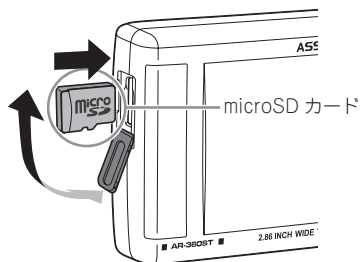
GPS データ更新機能



microSD カードを使用して GPS データの更新をおこないます。

詳しくは専用サイト (<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>) を参照してください。

- 1** GPS 更新データを入れた microSD カードを microSD スロットに挿入します。



参照 ◆microSD カードの挿入 (←20 ページ)

- 2** オールモード/標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「データ更新」を選びます。

マニュアルモード 1 / 2 の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENT ボタン」「▶ ボタン」を続けて押して「データ更新」を選びます。



参照 各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

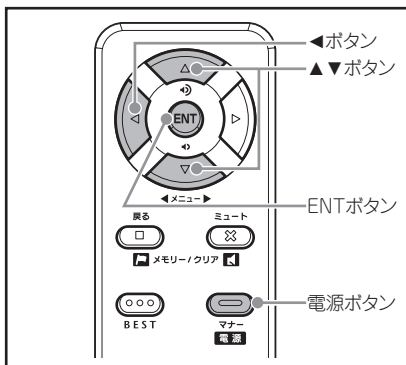
- 3** 「ENT ボタン」を押して GPS データを更新します。

GPS データの更新に成功すると以下の画面が表示されます。



GPS データの更新に失敗した場合、左の画面が表示されます。専用サイト内の説明をよく読み再度、データ更新をおこなってください。

ディスプレイモード



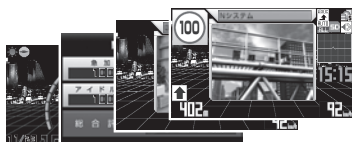
本製品のデモを表示するディスプレイモードになります。ディスプレイモード中は、本製品の機能が全て無効になりますのでご注意ください。

- 1 オールモード / 標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「ディスプレイモード」を選びます。
マニュアルモード1 / 2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「ディスプレイモード」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

- 2 「ENTボタン」を押すとディスプレイモードになります。
画面と音声によるデモをおこないます。

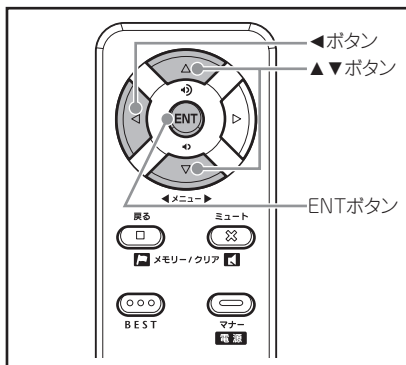


※画面は例です。

❖ディスプレイモードの解除方法

- 1 ディスプレイモード中に、「電源ボタン」を3秒以上押し続けます。
これでディスプレイモードが解除されました。

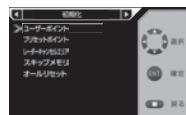
本製品の全リセット



この操作をおこなうと、各設定や記録内容は全て消去され、工場出荷時状態に戻ります。

【参照】BESTセレクト機能 (←40 ~ 41 ページ)

- 1 オールモード / 標準モードの場合は「◀ ボタン」を押して「初期化」を選びます。
マニュアルモード1 / 2の場合は、「◀ ボタン」を押して設定メニューから「各種設定」を選び、さらに「ENTボタン」「◀ ボタン」を続けて押して「初期化」を選びます。



【参照】各種機能の設定一覧 (←31 ~ 33 ページ)

- 2 「▼ボタン」または「▲ボタン」を押して、「オールリセット」を選びます。
「オールリセット、オールリセット…」と繰り返しアナウンスされます。
- 3 「ENTボタン」を約1秒間押し続けます。
これで全リセットが完了しました。



注意

全リセットをおこなうと、各設定や記録内容を復帰させることはできません。リセット操作は十分に注意しておこなってください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

故障かな?と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のご確認ください。

症 状	チェック内容	参照ページ
電源が入らない	DC12V または 24V が入力されていますか。 本体と DC コードが外れていませんか。	16 ~ 17 16 ~ 17
機能の設定ができない	「マニュアルモード」に設定されていますか。	39 ~ 41
GPS 信号を受信しない	GPS 信号は受信可能ですか。 GPS 信号は受信可能ですか。	11, 44 11, 44
速度取締機の警告をしない	登録されていない速度取締機の可能性があります。	4 ~ 5, 46, 59
	取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	31 ~ 33
	GPS 警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	47
GPS 警告をしない	設定が「解除」になっていませんか。	31 ~ 33
	登録されていないポイント (エリア) の可能性があります。	4 ~ 5, 46, 59
	ロード自動選択機能が ON になっていませんか。	31 ~ 33, 43
制限速度切り替わりポイントの GPS 警告をしない	制限速度切り替わりポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	31 ~ 33
何もないのにレーダー警告音が鳴る	速度取締機と同じ電波を他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。 - 同じ電波を使用している機器例 - ・ 自動ドアの一部 ・ 車両通過計測器 ・ NTT の通信回線の一部 ・ 気象用、航空機用などのレーダーの一部 - 対処法 - レーダーキャンセルメモリー機能	48
ユーザーメモリー記録ポイントをお知らせしない	ポイントは記録されましたか。	46
	反対方向などから走行していませんか。	46
L.S.C. 機能が働かない	L.S.C. 機能は ON になっていますか。	31 ~ 33, 42
ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	
ディスプレイに表示跡や色むらがある	ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	
無線を受信しない	受信設定が「解除」になっていませんか。	31 ~ 33
	無線は常に発信されているわけではありません。	4 ~ 5, 27 ~ 29
カーロケーターを受信しない	カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。	4 ~ 5, 28
	カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。	4 ~ 5, 28
350.1MHz を受信しない	デジタル通信の場合、音声を聞くことはできません。	4 ~ 5, 27
	350.1MHz の受信電波が弱いと、音声が聞こえない場合があります。	4 ~ 5, 27
レッカー無線を受信しない	本製品搭載のレッカー無線チャンネルは、主に東京都、兵庫県、愛知県内の一部地域で使用されているものです。レッカー無線を搭載していない車両の可能性があります。	4 ~ 5, 28
	走行速度が約 50km/h 以上で走行していませんか。	28
レッカー無線以外の業務無線を受信する	レッカー無線は簡易業務無線のため、その他業種の無線も受信します。	4 ~ 5, 28, 45
各種無線を受信したままになる	お車からの影響や、周囲の状況により受信したままになる場合があります。 - 対処法 - ・ フンスキップ ・ スキップメモリー	45 45

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明

ディスプレイの各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と思ったら

アフターサービス

MEMO

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

ディスプレイの
説明

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな？と
思ったら

アフターサービス
について

保証書について

○保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

○保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

⚠ 修理・点検を依頼される場合の注意

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等は全て消去されます。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出て、保証対象になりません。
- ・焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

○保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご相談ください。

GPSデータの更新について

本製品は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあつた場合、その内容を反映させたデータを1年に2回を目安として更新用データを作成しております。また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

参照 GPSデータ更新機能（●54ページ）

データ更新は選べる3プラン【入会金・年会費不要】

○ダウンロードお家で更新プラン

パソコンを使用して更新データをダウンロード

1ダウンロード ￥2,100（税込）

専用サイト（<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>）にアクセスします。手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。（市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。）専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。



microSDカードは別売です。

○microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを弊社お客様相談窓口または販売店で購入

1枚 ￥4,725（税込）

○送って更新プラン

製品を弊社に送っていただき弊社で更新を実施

1回 ￥5,250（税込）

お買い求めになった販売店、弊社お客様相談窓口までご相談ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ※ プランによっては、別途送料が必要です。
- ※ お客様所有のmicroSDカード（記憶媒体）へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

個人情報に関して

本製品に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動に、お客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取扱いについては当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントの情報提供のお願い

本製品でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報ございましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂いただけますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

※ 携帯電話などから e-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区	TEL.011-882-1225 (代)	FAX.011-881-7251
北海道セルスター工業株式会社	〒004-0843 札幌市清田区清田三条 1-3-1	
■東北地区	TEL.022-218-1100 (代)	FAX.022-218-1110
セルスター工業(株) 仙台営業所	〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158	
■関東地区	TEL.046-273-1100 (代)	FAX.046-273-1106
セルスター工業(株) 関東営業所	〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32	
■中部・北陸地区	TEL.052-798-6325 (代)	FAX.052-798-6315
中部セルスター工業株式会社	〒463-0021 愛知県名古屋市守山区大森 4-1002	
■関西・中国・四国地区	TEL.072-722-1880 (代)	FAX.072-722-5575
関西セルスター工業株式会社	〒562-0004 大阪府箕面市牧落 3-8-7	
■九州地区	TEL.092-552-5252 (代)	FAX.092-552-5300
九州セルスター工業株式会社	〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目 1-11-8	
■セルスター工業株式会社		
カスタマーサービス	フリーダイヤル 0120-75-6867	TEL 046-275-6867
	〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野 7-17-32	

● 名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

本製品の設置

本製品の起動

説明
ディスプレイの

各機能の設定

各機能の説明

便利な機能

故障かな?と
思ったら

アフターサービス
について

仕様・定格

本体

電源電圧：DC12V/24V
動作温度範囲：-10℃～+65℃
サイズ：66 (W) × 59 (D) × 24 (H) mm (突起物含まず)

モニター

表示方式：2.86インチ IPS液晶
動作温度範囲：-10℃～+65℃
サイズ：96 (W) × 14 (D) × 54 (H) mm (突起物含まず)

GPS アンテナ

動作温度範囲：-10℃～+65℃
サイズ：52 (W) × 48 (D) × 25 (H) mm (突起物含まず)

GPS 受信部

受信方式：12ch パラレル受信
受信周波数：1575.42MHz

レーダー受信部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：Xバンド、Kバンド

レシーバー部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数：UHF 330～470MHz帯、VHF 154～162MHz帯

リモコン

使用電池：リチウム電池/CR2032 × 1
動作温度範囲：-10℃～+65℃
サイズ：32 (W) × 13 (D) × 66 (H) mm (突起物含まず)

約 16,200 件、31 種類の高精度 GPS データを搭載

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| ・ 取締りポイント.....約 2,800 箇所 | ・ 制限速度切り替わりポイント.....約 1,020 箇所 |
| ・ 速度取締機 (7 種類).....約 720 箇所 | ・ 事故多発エリア.....約 1,750 箇所 |
| ・ オービス制限速度.....約 720 箇所 | ・ 駐車禁止エリア (重点、最重点).....約 950 箇所 |
| ・ N システム.....約 1,910 箇所 | ・ その他 |

※ 改良などのため、本製品の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オプション品 ※別途お買い求めください。

● RO-104 外付けスピーカー



Copyright © 2008 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstar および ASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。



全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100 (代) FAX.046-273-1106

PP-D302MN 2008.4